

四日市高校 普通 N・Sくん

僕は小学5年生のころに入りました。体験授業が面白くて、魅力があったものだったと今でも覚えています。塾に入って初めて受けた模試の点数に僕は圧倒されました。学校のテストと比べものにならないくらい難しく、恐ろしい点数を取ってしまいました。しかし、徐々に算・社・理の点数は伸びていったのですが、国語の点数はなかなか上らず苦労しました。中学校にあがって、陸上部の長距離ブロックに入ったのですが、中3の1学期までは部活が忙しく、勉強の方は思うように進みませんでした。そうこうしているうちに、受験勉強の移行期になる夏期講習。この講習が僕にとって最もつらかったです。前文で述べた通り、陸上部長距離ブロックに所属していて、他の部活より引退時期がかなり遅くて、部活と受験勉強の両立にはかなりの覚悟をしていたのですが、やはり大変でした。長い距離を走る長距離はなるべく涼しい時間のうちに走るので AM6:30 から朝練が始まります。それに対応すべく AM5:20 には起床、そこから準備して朝練に行き、家に帰ってきたら朝の自習に行ける日はシャワーを浴びてすぐ塾へ、そこから7時間みっちり勉強して帰ってきたらすぐ宿題。それも中1・中2とは比べものにならない量。大量の宿題が出るにも関わらず、部活は週によって朝・夕と1日2回行う日も。あの時は本当にしんどかったです。しかし、苦労した分、8月のぜんげんと9月の模試の成績で3位と過去最高の順位でした。本当に嬉しかったです。そのあとも勉強の方でも、部活の方でも順調に物事が進みました。勉強面では11月の模試は9月の時と比べ、順位は下げたものの4位でした。トップ5以内には入りました。部活面でも県駅伝で優勝し、全国大会に出場しました。中3の1学期のころは部活と勉強の両立ができるか不安でしたが、ふたを開けると、良い意味で予想を裏切りました。しかし、この後苦しみを味わいました。部活を12月中旬に引退し、いよいよ1日中勉強に没頭できる時間が生まれました。そして迎えた冬期講習。ここ2回の模試はZの上位に食い込めたのですが、冬期講習のクラス分けは思うように点数が取れず、Zギリギリの座席になってしまいました。最初の1週間はととても大変なものになりました。毎日膨大な量の宿題に追われ、就寝するのもAM1:00を過ぎる日もしばしば、大晦日も勉強優先、年越しもシャーペンを握り、人生の中で一番勉強した正月でした。しかし、大変だったものの、「1月のぜんげんで巻き返してやる！」と気力にあふれ、予想していたほどに、つらくはありませんでした。そして、冬のがんばりを発揮する1月ぜんげん。このぜんげんで再び上位へ！と思ったものの、結果はZの前から2列目。満足いく結果にはなりません。どうしたら成績があがるのか？と悩んでいました。3学期に入ってラストスパートの時期へ！このころから気晴らし程度にランニングを軽くするようになりました。このランニングがあることを発見させてくれました。2月、塾で受けるラストぜんげん。もちろん再び上位へと思って受けました。結果は6位で、久しぶりに上位に食い込みました。その時は本当に嬉しかったです。このときにあることに気づきました。体を動かすことで脳が活性化し、勉強の効率が上がったと。確かに、バリバリ体を動かしていた2学期、やはり部活の疲れで勉強面で満足のいく量じゃなくても塾の模試で上位に食い込みました。そして、2学期のころから、目標としていた四日市高校に志願届を出そう！と心に決めました。過去問もほとんどの年で四日市のボーダーをこえていました。1年分だけ点数が低く、ああどうしようか…というときに村田先生が「お前なら受かる！」と言ってくれたことは大きな支えになりました。そして、迎えた後期試験当日。自己採点をして218点~220点というところ。まあ、大丈夫だろうと思っていました。あっという間に1週間が過ぎ、いよいよ発表の日。駅の改札を出て、とても緊張する中、合格者の受験番号が貼ってあるボードを見つけ、受験番号を探しました。探していくと、受験番号が書かれていました。本当に良かった…努力して良かった…と思いました。最後に、僕が四日市高校に受かったのもオネストの先生たちのおかげです。国語では作文の添削、記述の文章内容があっているかチェックするなどしてくれた奈央先生、クラロワの時間等、先生が少し休める時間に「先生！質問。」と言って、「待つて！」と言いながら最終的に質問に答えてくれた村田先生。すぐ終わってしまう質問でも、自分で調べたらわかってしまう質問でもすべて答えてくれた西岡先生。地学から化学まで様々な質問に答えてくれた末松先生。記述や細かなことで質問に答えてくれた都築先生。理系となる数学・理科から文系となる社会まで、さまざまな質問に答えてくれた牛田先生。平面図形の質問をしたとき、図形を描いて悩みながら、最後には解法をちゃんと答えてくれた藪田先生。どうもありがとうございました！オネストで学んだことはこれからも忘れません！5年間お世話になりました！

四日市高校 普通 M・Kくん

僕は3年の夏期講習からオネストに入りました。最初は知らない子ばかりで緊張していたけれど、だんだんみんなとも仲良くなることができ、オネストへ行くのが楽しかったです。僕は部活ばかりやっていたので、夏期講習では昼の講習に出られず、夜の補講に参加しました。夜の補講は本当に助かりました。そのおかげで夏休み明けの全国模試ではいい点数を取ることができました。冬期講習では、宿題がとでも多く大変でした。夜の1時になっても宿題がぜんぜん終わらず、自分を追い込みました。でも、この追い込みこそが自分にとって最も力になったと思います。そして、冬休み明けのぜんけん模試では今までで一番いい成績を取ることができました。その調子で、私立高校もしっかりと受けることができました。そして、最後は県立です。僕はものすごく緊張していたけれど、過去問タイムでは、自分の納得のいく点数が取れていたり、先生たちからも勇気づけられたりしたので、自信をもって、受験に臨むことができました。志望校に合格できたのは先生たちのおかげです。たくさん記述や作文を見てもらった奈央先生、interestingな授業をしてくれた西岡先生、授業中おもしろいことをいってくれる村田先生、多くの質問やプリントをくれた都築先生、たくさんのお話を話した末松先生、すべての先生、本当にありがとうございました。最後に受験生のみなさんへ。受験勉強は志望校に合格するためだけにやるものではありません。その学校に入って、しっかりやっていくために受験勉強をします。勉強というものには継続が大事だと思っています。だから、毎日コツコツ勉強して下さい。オネストで出された宿題も必ずしましょう。どんなに忙しくても、空いている時間を見つけてみましょう。そうしたら、必ず、行きたい学校に行くことができます。悔いのない受験にするために今を頑張ってください。

四日市高校 国際科学 M・Aさん

今までずっと見てきたこのあしあとをついに自分が書く時が来たんだと改めて実感しています。私は小学5年生の冬からオネストに入りました。入った時から順位はよく、「自分って案外できるんやなあ」と思っていました。それは中学に入ってから続いたのですが、中3の夏前くらいからトップをキープするのが危なくなってきました。秋になると順位が下がってきて、ずっと宿題をサボっていたことを少し後悔しました。だから、冬期講習ではこの遅れを取り返そうと必死に頑張りました。そして最後の模試で元の順位に戻ることができました。(講習明けの模試では戻れなかったのですが、力がつくのは3ヶ月後とかよく言いますよね笑)この経験を通して私が学んだのは気持ちひとつで自分の成績は変えられるということです。順位が落ちていた時は「もうこのままでいいかな」なんて思ったこともあったのですが、「最後くらいはなんでもトップに戻ってやろう」と思って取り組むと結果を出すことができました。だから受験生になってしまった人も、まだ遠い未来だと思っている人も、壁にぶつかったら、ただ目の前で突っ立っているのではなく、超えようと頑張ってみてください。村田先生、西岡先生、奈央先生、都築先生、牛田先生、末松先生、藪ンツエル、、、冴佳先生、本当にお世話になりました。先生方に出会えて良かったです。なんとなく選んだ塾が(親はちゃんと考えてくれていたのだと思いますが)オネストだった私は強運ですね。最後に精一杯の感謝を伝えます。「ありがとう。」

四日市高校 普通 S・Sくん

僕は中学 3 年生の夏期講習からオネストに入りました。6 月に体験授業へ行ったとき、先生方の熱血指導に驚いたとともに「この人たちなら、自分の勉強をしっかりサポートしてくれる。」と感じました。そして夏期講習がやってきました。タイトルに『地獄の夏期講習』と書いてありましたが、まさにその通りでした。毎日、何枚配るの？と驚いていました。さらに、部活がまだあったため、その両立がとても大変でした。しかし、夜の補講にも関わらず、先生方が丁寧に指導して下さったおかげで、なんとか両立することができました。このような『地獄の夏期講習』が終わり、オネストで初めてのテストを受けました。このテストでクラスも決まるということだったので、とてもワクワクしていました。その結果は、上から 8 番目でした。7 人も上がいるのかと思うととても悔しかったです。だけど、その悔しさで 2 学期は頑張れました。そして待ちに待った冬期講習。2018 年度の『あしあと』を見ていると、ほとんどの先輩が「冬期講習が一番大変だった。」と書いていたので、とてもワクワクしていました。1 日目、予想以上の宿題が出されましたが、休み時間を利用して、その日中にすべて終わらせました。そして 2、3 日たつと、勉強のリズムが作られていき、つらいはずの冬期講習が楽しくなっていました。そうしているとあっという間に年を越し、お正月に入っていました。そして冬期講習の集大成である 1 月のぜんけん。偏差値が一番高くなると聞いていたので、とても楽しみにしていました。結果は、8 月のぜんけんよりも高くなっていてびっくりしました。月末に初めての試験である私立の入試を受け、過去問をする雰囲気とは違う、新鮮な空気を吸うことができました。3 学期はあっという間に過ぎ、ついに後期入試がきました。そこでは、自分の力を精一杯出しきりました。正直、緊張よりも楽しむというほうが大きかったです。オネストの先生へ。村田先生。僕の数学の才能を引き出すためのおもしろい問題を用意してくださり、ありがとうございました。そして、難しい問題が解けたとき、いつも村田先生の「ナイス！」という言葉を楽しみにしていました。そして自分の意志を貫き通す姿にとっても尊敬します。西岡先生。体験授業のときの第一印象は『熱血教師』でした。まるで、絵に描いたような熱血さは、とても心に響きました。オネストにまだ入ったばかりの授業で僕はずっと時計を気にしていました。なぜかという、ずっと世間話をしているからです。だけどその時間は無駄ではなく、生徒との距離を近づける大切な時間だったのだと今感じています。勉強の方では、西岡先生の授業を受けてから長文を読むことがとても楽しくなりました。なぜなら、頭の中ですばやく文章を理解することができたからです。このような「interesting な授業」をありがとうございました。奈央先生。毎回のよう先生のところに行き、作文や記述を見てもらっていたので、「申し訳ないな。」と思っていましたが、先生が「どんどん持ってきて」という言葉をかけてくださったおかげで、たくさん問題を解こうという気になれました。さらに、英検も面接練習をしっかりとくださったおかげで合格することができました。そして、何と言っても解説が丁寧でわかりやすかったです。僕は国語に苦手意識を持っていましたが、今ではそこまで意識をしておらず、順調に解けています。国語の苦手さをなくして下さい、ありがとうございました。牛田先生。社会の知識が豊富で、とても驚きました。何かの質問をすれば、それに関する知識も話して下さい、ずっと聞いていられるほど、興味深いものでした。さらに、他の教科にも対応していたのを見たとき、腰が抜けました。詳しい解説をしてくださり、ありがとうございました。都築先生。毎回の授業がとても楽しみでした。誰かが間違っているときに、面白いツッコミをして、みんなを笑わせてくださったことは、今でも忘れません。友達と「先生のツッコミのセンス良すぎ。」と毎回言っていました。試験当日には握手もしてくださり、とても安心しました。勉強面でも、教科書などを使って詳しく説明してくださり、ありがとうございました。藪田先生。あまり関わることがありませんでしたが、数学の教え方はすばらしいです。だから、いつも周りには生徒がいるんだと思います。フレンドリーで、場の雰囲気を和ませてくださり、ありがとうございました。そして、ご結婚おめでとうございませう！末松先生。みんなからいろいろいじられているイメージでした。年が近い分、接しやすかったです。だから、分かるまでずっと質問し続けられました。だけど、記述問題では悩まされました。いつも「国語力がない。」と言われ、必死に勉強しました。この文章はどうでしょうか？まだまだ未熟ですが、次会うときは、驚くほど国語力が高い人間になります！いつも楽しそうに質問を聞いてくださりありがとうございました。最後に、オネストを毎日絶賛していました。何とんでも教え方、生徒との距離。すべてが僕の理想的な塾でした。このように毎日行きたいと思った塾は初めてです。そして、仲間と競い合える環境でできたこともとても良い経験となりました。本当にありがとうございました。後輩へ。次へのステップをふむには、悔しい思いをすることです。例えば、どうして休み時間も勉強しているのにあの子に負けるのと思い、悔しさを活力に変えていくことです。そして、オネストの先生を信じてください。半年間ありがとうございました。オネストで良かった！

津高校 普通 K・Tくん

自分は 5 年生からオネストに通っていたけど、正直、ほとんど宿題していなかったり、家での勉強時間はほとんど 0 分でした。ですが、3 年生になってからの講習の宿題をやると、今までよりも学力が上がりました。それに、3 年生になってからはオネストの先生たちの圧や、やる気がすごくて、それについていこうとがんばろうという気にもなれました。だから、今勉強をぜんぜんしていなくてもなんとかなると思います!!

津高校 普通 T・Kくん

ぼくは中学 1 年生の春にオネストに入りました。最初の頃は宿題が多くて、とても不安でした。けれど、オネストはとても楽しかったです。ぼくが最もきついと思ったのは 3 年の冬期講習です。特に小テストがやばいです。全教科小テストがあり、ペナルティがあるので、きつかったです。1 年生、2 年生の人は「 π 」(パイ)を忘れないように気を付けてください。数字があっても「 π 」がないと、バツされるし、300 回かかされるので、「 π 」は忘れないでください。3 年間お世話になりました。ありがとうございました。

津高校 普通 S・Sくん

僕は小学 5 年生からオネストに入りました。僕が中 2 のときぐらいに英語が分からなくなり、T に落ちてしまうこともありました。受験が近づくにつれあせりだした僕は冬期講習で必死に勉強をして、長文を読むこと、英作文を書く能力がだいぶ成長したと思います。だから、僕が言えることは、とりあえず宿題をしっかりとこなすことだと思います。最後に受験が終わるまで支えてくださったオネストの先生方、ありがとうございました。

津高校 普通 I・Yくん

僕は小 6 のころにオネストに入りました。僕はあまり家で勉強するタイプではありませんでした。だから、宿題がたくさん出て、勉強も見してくれるオネストに入りました。オネストでは先生が分かりやすく解説してくれてとてもわかりやすかったです。また、どのように覚えるのか上手に教えてくれました。受験シーズンに入り宿題の量や勉強の時間が増えてからは、とても忙しい日々が続きました。しかし、そのおかげで、本番でほとんどの問題を解くことができました。得意じゃなかった社会と英語も 40 点をこえて無事合格できました。本当にありがとうございました。

津高校 普通 T・Jくん

僕は小学 5 年生からオネストに入塾しました。当時から数学が苦手で、毎回ピヨ会に呼ばれており、村田先生が憎くてしょうがなかったです。数学が苦手なまま中学生になり、英語がやってきました。最初は大丈夫でしたが、途中から暗号でした。授業はとても (interesting の方の) 楽しかったのですが、何となくやっていたら、3 年生の 12 月の模試で 37 点をとりました。これはやばいと思って、冬期講習では、いままで一切したことがなく、中 3 の夏期講習ですらやらなかったプリント類をがんばってこなしました。それで、なんとか理解できるようになり、点数も上がりました。あいかわらず数学はまったくできませんでした。とりあえず入試過去問で 30 点以上はとれるように村田先生ががんばってくれたので、感謝しています。冬期講習が終わったあとに辛すぎて、燃えつきてしまいましたが、冬期講習をやっていたおかげでなんとか合格することができました。オネストの労働環境が悪すぎて労働基準法大丈夫かなとか、色々思いますが、ここまで生徒を第一に考えて生きている人たちは、そういないと思うので、ここに入塾して良かったと思いました。できれば、高校もして欲しいです。そんなことをしたら、多分死ぬと思います。

津高校 普通 M・Hくん

自分がオネストに入ったのは中 1 の夏、英語が苦手で単語のスペルさえ間違っただけの状態でした。しかし先生方の熱い指導によって志望校に合格することができました。これは自分の努力によるものではなく、オネストの先生方の力が大きかったと思います。オネスト生諸君は、オネストの先生方を信じて勉強してください。質問は遠慮していたら、聞くタイミングを逃します。気になった瞬間に聞きに行ってください。あと宿題はできるかぎりやってください。クラス落ちます。最後にオネストの先生方、3 年間ありがとうございました。

津高校 普通 Y・Yくん

私はオネストに入り、本当に良かったなぁと感じています。私はオネストに入る前は正直、津高校には手が届かない位置にいました。しかし、それぞれの教科の先生たちがおもしろくてわかりやすい授業を熱血にしてくれました。そのおかげで、ぐんぐん成績が伸びました。私が一番成績がのびたのは冬期講習のころです。冬期講習では本当にやりきれないほど、たくさんの宿題が出ました。私はそのたくさんの宿題をすべてやりきりました。私はたくさんの宿題が出された時、すべてやりきるということが一番大事なことだと思います。その宿題をやるかやらないかで受験に合格するかしないかが決まってくると思います。正直なところ、まだ冬期講習からでも全然、間に合います！でも、コツコツやるのがやっぱり一番大事だと思います。だから、毎回出る宿題をしっかりとやりましょう。コツコツやって、積み重ねていくことで必ず実力がつきます！最後は「過程よりも結果」ですが、がんばった人には必ず結果は出てきます。あと、がんばったことで結果を出すための「自信」がつきます。だから、勉強をがんばってください。

津高校 普通 S・Mさん

私は小 6 の冬期講習にオネストに入りました。初めてオネストに行った時、知らない人ばかりでとても緊張していましたが、先生たちのおもしろい話で緊張がほぐれたのを覚えています。初めてのクラス分けテストの時はSクラスで悔しい思いをして、そこからのテストは“Zに入る”という目標を持って取り組みました。負けず嫌いな私にとって、学力順で座席が決まる方式は自分に合っていたと思います。中 1 から中 2 にかけては勉強より部活優先の生活を送っていたので、授業中ウトウトしてしまっていたことがありました。すみませんでした。中 3 になってもあまり受験生という意識を持っていなくて、2 学期が終わるまでは勉強を全くしない日もあって、ずっと遊んでいました。でも、それが成績に表れて、やっと勉強を始めたので、今ではもう少し早く勉強をしておけば良かったと思っています。特に、行きたい高校がなくて、高専を目指したり、少し無理をして四日市高校を目指したりしていました。初めは願書は四日市高校に出しましたが、過去問の結果が少し不安だったので、たくさんの人に相談にのってもらい、結局津高校に願変しました。願変したことで、少しは心に余裕ができ、入試当日落ちついて試験を受けられて合格という結果を残せて良かったと思います。オネストの先生方には、入試前日までたくさんの質問や相談に答えてくださり、感謝しています。ありがとうございました。

津高校 普通 H・Nさん

私は、小学校では白子校で、中学校からは鈴鹿校にお世話になりました。オネストでは、多めの宿題が出て、学校の宿題と重なり、さらに部活と大変でしたが、終わってみると、3 年間は短く感じ、最後までやりきれて志望校にも合格できて良かったと思いました。オネストの授業は、西岡先生の「この文訳して」という恐怖の補講があったり、都築先生の「早くやっちゃってよ〜！」が何度も聞こえたのが、すごく印象に残っていて、おもしろかったです。私は、いつも授業を理解するのが遅くて、やっと理解したら、もう次の単元に…という感じでした。だから、オネストの先生方に、たくさんの質問を丁寧に教えてもらいました。時々、1 回聞くだけではわからなくて、何度も、同じ問題を教えてもらい、よく末松先生に、「うんとかすんとか言って！」と言われたり、藪田先生に「今、何%わかった？」と聞かれたりしましたが、最終的に分かり、解けなかった問題が解けるようになりました！本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。～後輩へ～夢を実現するためにコツコツ努力することは、きっと無駄にはならないし、夢を実現したときの気持ちは、きっと味わったことのないくらい嬉しいと思います。勉強と部活の両立は難しいけれど、やってみる価値はあります。頑張ってください！もう高校生になったら、オネストには行かないんだと思うと少し寂しいし、勉強面の不安も大きいですが、オネストで学んだたくさんのお話を勉強や高校生活に活かし、人見知りしないで友達を増やして頑張ります。オネストがとても楽しかったです！本当にありがとうございました！！

津高校 普通 M・Dくん

ぼくは 3 年生の夏からオネストに入りました。オネストの第一印象は「おもしろい塾」でした。体験授業を受けて、とても楽しく、おもしろかったのでここでなら楽しく勉強ができると思いました。夏期講習、冬期講習で出た宿題の量は本当にヤバかったです。夏期講習はまだ休みがあって、宿題をする余裕があり、良かったけど、冬期講習は一週間ぶっ続け。そのうえ、毎日講習が終わってからすぐに宿題をはじめても 12 時をこえてしまいました。でも、この宿題をまじめにしたことで志望校に合格できたのだと思いました。後輩の子達は、これから地獄のような夏期講習と冬期講習を受けると思うけど出された宿題をさぼらずにやってください。絶対にさぼらずにやれば、必ず自分の力になります。後悔をしないように勉強をしてください。受験頑張ろう!!

津高校 普通 S・Tさん

私は小学 6 年生の冬からオネストに入りました。部活があった頃の両立はきつかったですが、3 年生の時の講習はもっと大変だったと感じます。「冬期講習はとにかく宿題が多く、本当に朝から夜まで勉強状態で、オネスト生の冬休みのつらさを実感しました(笑)」私は志望校ををなかなか決められず、結果、高専と津校の両方を受験しました。高専は高専でとても大変だったし難しかったけど、高専補講もあったおかげで良い結果が出せました。補講してくれた 3 人の先生方、ありがとうございました。本科の日は「今日、塾」とか…とか思っていたのですが、授業もがっつり勉強!! って感じではなく、おもしろく、そして分かりやすかったので、わりとその本科が終わったあとは、気持ちが行く前とは違いました。本当にどの先生にもたくさんお世話になって、感謝しかありません。高校に合格できたのは、大変だったけど、熱心に勉強させてくれるオネストに入って、先生方に教えてもらってのことだと思います。一緒に勉強し、競争してくれたオネスト生、オネストの先生方、本当にありがとうございました。

津高校 普通 K・Hくん

僕がオネストに通うようになったのは中 2 の冬期講習。テストの成績が悪いわけではなかった。むしろ学年ではトップクラスだった。(決して自慢しているわけではない)しかし、当時はさぼり気味であり、テストの点数も順位も下がってきたため、「他の学校の子のレベルを知って、やる気を出せ」ということで通うことになった。そうして通い始めたころ、僕はオネストで 1 位いけるのではないかと考えていた。しかし、いざ最初の模試をした結果は塾内 3 位。十分すぎる結果であり、僕はとてもうれしかったが、「上には上がいる」ということを思い知らされた。その後 1 度だけ 1 位になれたが、後はずっと 2 位。最初の考えは甘かったということを知らされた。そこからは 1 位になれるように努力した。正直、模試の前は勉強をあまり(というより全く)せず、当日に B-pal をする程度だったが、B-pal だけでなく、他のワークなどもするようになった。その結果、ついに念願の 1 位に！とてもうれしかった。その後も、ほぼ 1 位をキープできたのもとてもうれしかった。…とここまで自分の経験を長々と書いてきたが、何が言いたいかというと、オネストの強みには「他の子との競争があること」と思っている。「他の塾も同じだろ」と思う人、確かにそうかもしれない。しかし、オネストではこれが強いと感じている。オネストの先生方の熱血指導、成績によるクラス分けなどでやる気が出たことで僕も成長できた。先生方には本当に感謝してもしきれないと感じている。また、オネストの先生方は生徒に親身になってくれる。疲れている生徒を無理に授業に出さない姿を見たことがある(これを見て疲れたフリをしてサボろうとしているヤツ、それは多分無理だ、諦めろ)。オネストの先生方は生徒のことをしっかりと考え、熱く指導してくれる、本当によい先生だと思う。正直、学校の先生より頼りにしていた。1 年と少しという短い間ではあったが、本当に成長できた。オネスト、ありがとう！そして、さようなら！再び会う、その時まで！(長文 & グダグダ、失礼しました。)

四日市南 数理科学 M・Kさん

私は 3 年生の 9 月からオネスト鈴鹿校にきました。オネストに入塾するまで、「塾」についての経験も知識もなかったので、入ったときは本当に怖かったし、何をすればいいのかも分からず、とりあえずおどおどしていました。それより前に体験で来たときは、1 日どの席にいるか決めるときに知らない先生方を見て「だれだろうこの眼鏡の人…！？こっちの人もなんか怖い！！」って思ったのをよく覚えています。(みつつん、むらっちごめんさい！！)でも入ってみたら、今までの塾のイメージと(いい意味で)全然違って、とっても楽しかったです。「かたくるしい、みんな真面目、学校よりしずか」ってわけでもないんですね。先生と生徒がたまに友達みたいな会話していたり、先生がゲームの話してる！！とか、授業にも、学校にない楽しさがとっても楽しかったです。雑談は先生たちの話がおもしろすぎてプリント学習が進まないレベルでした、私がおもうには、聞き入っちゃうという。他中の友達に会うことや、入試本番の日に先生に会えること、応援してくれることは、とても心強かったです。塾ならではのあたたかさや心強さだなあと思いました。そういえば、さっき塾のイメージが変わったと書きましたが、先生の熱血さ、応援、協力の度合い(?)、かける言葉の上手さ(人間き悪いですかね)もイメージと違いました。でもたまに他の塾(どことは言いません)の人が「うちの塾そんなことしてくれない」やら「パーティーにはいかない。いきたくない」いってたので、HONEST だから熱血だったかもしれませんが、心強くて、温かくて、ふだんはおもしろいのにしっかり寄り添ってくれたオネストが大好きでした。後期までオネスト生としてがんばれてよかったです。(意外と学校は何もしてくれませんでした)自分の学力の位置がよく分かるのも心強かったです。きっと合否がどうであっても、オネストで過ごした日々を無駄と思いませんでした。ありがとうございました！高校受験をひかえている人、私は堂々とアドバイスできるような立派な先輩ではないですが、宿題は冬期講習は特にですが、がんばってこなした方がいいと思います。ちょっとでもためると、講習が終わるころにはたっぷりたまります。(ごめんさい)そして、焦りと罪恶感に駆られ、まわりがちゃんとできてそうに見えて更に心配になります。あと、オネストの先生の言っていることはとても信頼できます。多分ですが、私はそうでした。もし勉強や「自分はおいてかれている」とかの不安があったらすぐに聞くのが 1 番だと思います。これも宿題と同様、私の場合すぐに、どんどんたまりました。友達も同じ悩み状況だと分かることもとても安心しました。だからって油断は禁物ですが、最後に、時間の勘違いで記号問題 8 点分を落とすような、私のようなミスはしないでください。お願いします。まれにみる絶望です。絶対にありませんように！

四日市南 数理科学 K・Hさん

私がオネストに入ったのは 2 年生の 5 月でした。1 年生の時は、勉強の方法も分からなかったし、勉強への意欲もまったくありませんでした。だけど、オネストに入ってから、周りのみんなに追いつけるようになるために、勉強に真剣に向き合うようになりました。そして、2 年生の秋に「四日市南高校に行きたい。」と思うようになりました。その時の私の学力では、受かる可能性はとても低かったです。志望校判定でも 70%をなかなかこえませんでした。しかし、オネストの先生方やまわりの友達のおかげで、学力がだんだんあがっていき、志望校判定でも 70%近くとることができました。3 年生の冬の、受験前には、毎日のように自習に行ったり、夜遅くまで残って苦手科目を復習したりして、今までにないくらい、勉強をしました。その結果、志望校に受かりました。受験当日、体調不良になってしまい、別室で 1 人で受けましたが自分の力を発揮できたのは、オネストのおかげです。オネストの先生方今までありがとうございました！これから受験をするみなさん！今からでも全然遅くありません！頑張ってください。

四日市南 普通 A・Mさん

オネストに入って 2 年半勉強を頑張ったので、小 6 からずっと念願だった四日市南高校に受かることができました！！本当にうれしいです！！後輩のみんなに伝えたいことは、苦手な教科をずっとほったらかしにしないことです。私は中学校 1 年生のころからずっと苦手だった社会を中 3 の受験の時期までほったらかしにしまったので、めちゃめちゃポンコツな状態からある程度点数が取れるようになるまですごく大変でした。むらっちに中尊寺金色堂を 65 回書かされたときには腕がもげるんじゃないかと思いました。でもこの特別特訓のおかげで、入試当日のテストでいい点数を取れることができました！だから、絶対に苦手な教科にもしっかり向き合っていた方がいいです！！ほんとに！！ほかには、受験勉強をしていて集中が切れたときにやると良い事と悪い事です。良い事は、違う教科や好きな教科をしたり、同じ教科だけでなく飽きたら変えていくことや、チョコレートなどのお菓子を食ったり、好きな音楽を聞くことです。悪い事は友達と電話したり、わりと長めのゲームをしたりする事です。あんまり長時間の休憩を取ってしまうとよけい集中がきれるどころか、逆に違う方に集中がいつってしまうからです。私はこんな失敗が多くて集中がぜんぜん続かなかったのでみんな気をつけてください(笑)。ここまでではわりとまじめな感じだったけど。あらためてやぶっち結婚おめでとう〜♡ほんとに結婚式行きたいのに！！やぶっちのウエディング姿見たかった〜。あと、まさみつつんも早く結婚しやんとやばいよ(笑)。もしかしたら私の方が先に結婚するかも(笑)！！いつも顔を見たら嫌味しかいってこやんづつき〜とも言い合いができなくなるのが少しさみしいー。西岡先生は吹部のこと詳しいし、いつも授業が楽しくて英語が好きになった！！いつもクールでかっこいいなお先生や、最後までポンコツだった社会を見てくれたむらっち。オネストの先生には本当に感謝しています！ありがとうございました！！最後に。オネストは宿題が多くて大変な時もあるけど、絶対に 1 つ 1 つきちんとこなしていった方がいい！！みんな私みたいにさぼらないように(笑)！！

四日市南 普通 F・Rくん

僕は小 5 の夏期講習からオネストにお世話になって、4 年半教えてもらいました。オネストの先生方はあたたかくとても過ごしやすい環境でした。まさみつつんのかまちよぶりには手を焼きましたけど(笑)。僕は Z クラスに行ったり、T クラスに行ったりとクラスは周期的に変わり、最後は T クラスで終わりました。そのとき、オネストの先生の誰かに(たぶんむらっち)「冬勉強さぼったからや。」と言われ、めっちゃ勉強したろと思うようになりました。今思うとけっこう単細胞やん自分と思います。それから、教科書を持ち歩いたりして、県立の過去問の点数がだんだん少しずつ上がってきてうれしかったのを覚えています。このように何かのきっかけで勉強の量を増やしていくことが大切だと思いました。話が変わりますが、みなさんは緊張しますか？僕は、けっこうな緊張症です。なので、僕は思ったことを口に出して不安などを吐き出していました。例えば「やばい、英語終わったかも」とか、「むらっちうざっ」とか「まさみつつん殴りたい」とか(笑)。こうすると少し楽になるのでやってみてください。あと、なお先生が「緊張は集中力につながる」と言っていました。なので、受験は緊張するだけでなく、問題と戦うことを楽しむ気持ちを持つといいですよ。最後に僕が悩みがあったときにいつも相談にのってくれた西岡先生。4 年半僕のことをかまってくれたなお先生。楽しく授業をし、たくさん教えてくれた都築先生。どんなことでも質問を聞いて答えてくれた牛田先生。結婚で喜んでるラブンツェル(藪田先生)。最後まですべっていたけど、おもしろかったまさみつ先生。遅くまで進路を一緒に考えてくれた村田先生。本当にありがとうございました。オネストは最高の塾です。

四日市南 普通 M・Aさん

オネストには、4 年生から入りました。小学 4 年生だった私にとってオネストの宿題は苦痛でした。上手くさぼるためにはどうしたらいいのかだけを考えて過ごしてきました。そして中 3 になって、受験というものを意識してくる時期になり、勉強も進路選択もあせるようになりました。Z の中でもみんなと比べていつも自信をなくして、すぐにあきらめていた私を勇気づけて、背中を押してくれた先生方がオネストにはいます。悩んだときには相談にのってくれてはげましてくれます。たくさん進路のことで相談にのってくれて、分からないところは分かるまでつきあってくれます。本当に生徒たちのことを考え、一人一人を思ってくれています。オネストの先生たちの言うべきことを信じて、頑張っ勉強すれば、必ず結果はついてくるはずですよ。受験の怖さや遊びたい我慢の限界を感じるかもしれないけれど、ふんばって耐えてください。夏期講習や冬期講習は眠れなくてしんどいです！！でも、そんな体験ができるのもオネストだけです。さぼったら自分に返ってきます。最後まで頑張れ！！

四日市南 普通 S・Mさん

私は中2の春期講習に行き、中3の夏期講習からオネストに入りました。夏期講習のときも宿題が多くて、全部はやりきれませんでした。だけど、冬期講習はもっと宿題が多かったけど、冬期講習が始まる前からオネストの先生たちから「冬にどれだけ頑張れるかやで。」と言われていたので、その日に出されたプリントの宿題はその日のうちにしました。冬休みは1日勉強だったけど、オネストにいる友達と一緒に頑張ることができたと、どんどん問題が解けるようになったので、とてもうれしかったです。普段の授業でも勉強ばかりではなく、おもしろい話などもあって、楽しくオネストに通い、勉強することができました。授業後でも夜遅くまで先生に質問して、わからない問題をわかるまで教えてくれたので、いろんな問題ができるようになりました。オネストの先生はすごく質問しやすかったので、いろいろ質問ができました。わからない問題があれば、すぐに先生に聞いて、解決しておくと思いいます。数学の授業は難しい応用問題をすることが多かったです。ほとんど解けない問題だったけれど、1回だけ解けたことがあって、そのときは本当にうれしかったです。オネストはレベルの高い人たちが多かっただったので、私が思っていたより上の高校を目指すようになり、行きたかった科には届かなかったけれど、その高校に合格することができました。オネストじゃなかったらこんなに勉強しなかったと思います。たくさん勉強したから、自信を持って受験することができました。オネストに通って良かったです。ありがとうございました。

四日市南 普通 S・Sくん

僕は小学5年生のときから塾に入りました。宿題は多かったけど、授業はとてもおもしろかったです。オネストで一番えらかったことは夏期講習でした。部活で学校の宿題の提出期限があり、塾の宿題と学校の宿題を両立しなければなりません。中学1・2年生の時は塾のある日は塾の宿題をし、塾のない日は学校の宿題を進めるというのが夏期講習期間は続いていました。僕は300回 π を書いたことがあります。ですが、その次の学校のテストで π を書き忘れるというミスをしました。そのとき僕は π を300回書く意味はあるのかと勝手に思っていました。苦手教科が国語で、記述の答え合わせのときはあたるなど祈っていました笑。西岡先生は授業中よく脱線して、英語とは関係のない話をするのがあって、とてもおもしろかったです。これからの受験生へ、夏期講習や冬期講習は下克上するチャンスだと思うので、講習期間はがんばってください。オネストに通っていてよかったです。楽しかったです。今までありがとうございました。

四日市南 普通 N・Hくん

僕は中学1年生の時にオネストに入りました。オネストに入るまでの僕の成績は学校のテストで100位近かったです。オネストに入ってから30位くらいの順位をほぼ毎回とれるようになりました。僕はオネストで配られる宿題はチェックされるものだけをしていて、元素記号や英語のテストも授業が始まる前に覚えたりしていましたが、3年生の冬休みは、毎日スマホを触らず、配られた宿題をすべてやり、漢字や理科の記述などのテストも家で覚えたり、昼食中に覚えたりして、完璧に覚えられるように努力をしたら偏差値が5ぐらい上がり、四日市南を目指すくらいになりました。1月に入ってから、分からない問題を聞くようにして、社会や理科の教科書を読んだりしながら受験まで頑張り合格することができました。オネストでは学校外の友達もいっぱいできて、学校と同じかそれ以上に楽しい生活を送ることができとても幸せでした。生徒のために一生懸命勉強を教えてくれて、合格まで導いてくださった先生方にはとても感謝しています。これからもオネストで学んだことを大切に高校生活を送っていきたいと思います。先生方ありがとうございました。

四日市南 数理科学 K・Aさん

勉強は裏切らないので、しっかりやっておくべきです。2年間オネストに通い、本科の宿題はあまりやっていませんでしたが、夏期・冬期講習の宿題はしっかりやりました。冬期講習の後からは、理科・社会の暗記を中心にやりました。家で勉強しない人は受験前にオネストに通えるので、毎日来た方がいいです。オネストに来て、自分のレベルがわかり、志望校に合格できてよかったです。

津西高校 普通 Y・Rくん

僕は中3の春期講習からオネストに入りました。中2の頃に勉強をさぼってしまって学力が下がり、それがきっかけでオネストに入りました。最初はS1でした。ですが、夏期講習の時に宿題をちゃんとやったらT1に上がりました。そして冬期講習もがんばり、最後にはZに入ることができました。だから、これから受験生の皆さんには講習はとても大切だということと誰でも普段からコツコツ勉強すれば学力が上がることを伝えたいです。

津西高校 国際科学 M・Mさん

私は受験勉強について後悔していることがあります。それは、夏期講習の宿題や自習教室などオネストの先生から出された課題に真面目に取り組まなかったことです。私が本当にまじめに受験勉強をし始めたのは冬期講習からでした。周りに比べ、スタートがだいぶ遅れてしまったため、そこからの勉強はものすごく苦しくて大変でした。模試の成績も下がる一方だし、勉強していても分からないところだらけで「もう何もしたくない」と思ったことも何度ありました。そんな中でもオネストの先生方が見捨てずに支えてくれたおかげで私は何とか志望校に合格することができました。理解が遅い私に1から丁寧に理科を教えてくれた西岡先生。的確で鋭いアドバイスをくれたなお先生。受験当日あたたかいメッセージの手紙をくれた藪田先生。社会の記述を見てダメなところをチェックしてくれた都築先生。本当に夜遅くまで(1番遅いときで11:30ぐらいまで)私の質問に付き合ってくれた末松先生。常に全力で生徒と向き合ってくれて熱い言葉を投げかけてくれた村田先生。優しく丁寧に様々な教科を教えてくれた牛田先生。本当に本当にオネストの先生方には感謝しています。ありがとうございました。私が受験勉強を通して気づいたことはコツコツ勉強することがいかに大切かということです。私はコツコツ勉強することがめちゃくちゃ苦手で本当に最後まで苦しかったのでこれから受験生となる皆さんはオネストの先生方から出される課題は真面目にコツコツやった方がいいと思います。最後にオネストの先生方本当にありがとうございました！

津西高校 普通 M・Kくん

私は中学3年の9月くらいから行き始めました。最初は全然慣れず緊張していましたがすぐに楽しくなりました。初めの頃は同じ中学校の人たちしか仲がいい人がいませんでしたが、冬期講習のときには他の中学校の友達がたくさんできました。どの教科でも授業が分かりやすく質問をすれば分かりやすく教えてくれました。冬には村田先生に多くの質問をして分かりやすく説明してもらいました。私は理科と数学がそこまで得意ではなかったのが最後の頃は藪田先生と末松先生に多くの質問をしていました。たくさんの質問をしたからこそ私は津西高校に合格できたんだと思います。本当に感謝しています！

津西高校 国際科学 E・Sくん

僕は小5の時にオネストに入りました。僕はほとんどZクラスにいたのですが、2回Tクラスに落ちてしまったことがありました。その時に、僕はZクラスとTクラスの空気の違いをすごく感じ、何としてもZクラスにいなければと思い、少しずつ勉強をしていくようになりました。僕が一番勉強が大変だった時期は中3の秋です。僕は陸上部の長距離に所属していたため、ほとんどの人が部活を引退している中3の秋も部活をしていました。しかし、そのころにはオネストの補講も多くなってきていたので、塾と部活の両立がとても大変でした。でも、それを乗り越えたおかげで、冬期講習の宿題はあまり苦に感じずにできたような気がします。僕は津西高校の国際科学科を前期選抜でも受験しました。僕は前期選抜で合格するつもりだったのですが、試験当日にお金を忘れて、時計を忘れてするという失態をおかし、見事に不合格の通知を受け取ってしまいました。ほとんどの人はここからさらに勉強すると思うのですが、僕はこの時点で勉強に疲れてしまい、勉強を家で一切なくなりました。塾の補講も全行かず、宿題もせす寝てばかりいました。ちなみに、後期選抜の過去問が全教科あるのですが、僕は数学2年分しかしていませんでした。そのころの僕は先生や親にとっても心配をかけていたと思います。こんな僕でも津西の国債に合格できたのは、社会などの暗記教科の内容が、日ごろから頭の中に入っていたため、2月、3月に暗記教科を覚え直す必要がなかったからだだと思います。僕の勉強方法は全然参考にならないと思うので書きませんが、とりあえず、本科や講習でもらったワークやプリントを全部真面目にすれば、志望校には多分合格できると思うので頑張ってみてください。最後に、こんな僕を最後まで見守ってくれた先生方、本当に世話になりました。ありがとうございました。

津西高校 普通 Y・Kくん

私は中学2年生の冬期講習からオネストに入りました。オネストに入る前はテスト期間しか勉強をしていなくて、志望校はどこでもいいという適当な感じでした。部活が終わって夏休みの夏期講習は頑張りましたが定期テストや模試の結果は不安定なままでした。私が私立高校からスポーツ推薦をもらって悩んでいた時に西岡先生が相談ののってくれたり、村田先生が私の考えを聞いてくれてとても気持ちが楽になりました。悩んだ末に県立高校を受けることに決め、国際科学科に受かるくらいの点数を取ろうと思って勉強していた中で、オネストの先生方が質問に答えてくれて自力で解ける問題が増えました。特に数学は苦手でしたが村田先生と末松先生が真剣に教えてくれたので他の教科と同じくらいの点数がとれるようになりました。先生方が全力でサポートしてくれたおかげで私立高校にも志望通り合格し、過去問でも安定した点数が取れて自信をもって後期選抜と合格発表に行くことができました。国際科学科は落ちてしまいましたが無事志望校に合格できたのはオネストの先生方のおかげだと思っています。最後に後輩へ、オネストの先生方は志望校に受かるための力となってくれるはずですよ。人生最初の壁ともいえる高校入試をオネストの先生方と乗り越えられるように頑張ってください。

津西高校 普通 N・Aくん

僕は2年の春にオネストに入りました。塾に入ったことがなかったので最初はすごく緊張しました。しかし、オネストの先生方の授業はとても分かりやすく熱心に教えてくださいました。3年生の夏期講習からは宿題やプリントの量が増え、いよいよ受験勉強がスタートしたと感じました。しかし、まだ部活も残っておりなかなか勉強をしませんでした。僕が受験勉強を始めたのは3年生の冬期講習でした。休み時間にスマホをやっている人も減り、勉強しなければという焦りが来ました。それからは社会と英語の単語を覚えめました。僕は家では勉強せずに寝てしまうので塾では集中して授業に取り組みました。そのおかげで無事志望校に合格することができました。試験の点数は今までで最高点数を取ることができて勉強して良かったなと思いました。今まで塾の送迎をしてくれた親や最後の最後まで熱心に教えてくれた先生方には本当に感謝しています。

津西高校 普通 T・Mさん

私は小学校のときからオネストに通っていました。中2の時は1回Tになったことがあったけどあとは全部Zにすることができました。しかし、宿題をさぼるようになったので中3はTばかりで受験が近づくにつれてどんどん学力が下がっていきました。私は小学3年生の時にすずフェスで津西高校のダンス部である西ダンを見てからずっと西ダンに強く憧れを持っていました。しかし中3では学校のテストもうまくいってなくて学校の先生にも絶対無理！ときっぱり言われたりしました。しかも内申も中1の時に比べ中2の時に7も落としてしまったので中3になって内申を上げることもものすごく苦労しました。だから、やっぱり津西は自分には無理かもしれないと思って志望校を下げようかとも考えました。あと、中3の夏くらいで落ちて私立に行くのだけは嫌という思いがすごくあって、志望校を下げてでも県立に行きたいと思うようになっていました。中3の夏期講習が終わってからさらに学力が下がってT2ばかりになってしまいました。体力もなくてすごく毎日が眠くて勉強する気がおこらなかつたりしました。そして冬期講習はS1になってしまいました。でもなぜかあまりショックではありませんでした。でももう冬だから勉強頑張ろうと思って冬期講習からは本当に勉強を頑張りました。私は問題を解くスピードがすごく遅いので配られたプリントをすべてこなすのは無理だと思って苦手分野を徹底的にやりました。そうしたら冬期講習明けの模試でT1の真ん中くらいに上がることができました。T1に上がったことで勉強に対する意欲がわいて2月くらいまではやる気で勉強を頑張ることができました。そしてやっぱり津西に行きたいという思いが強くなりました。私立の結果も高田のII類特選に受かったことで津西から志望校を下げて県立に行くぐらいなら堂々と津西を受けた方がもし落ちて高田になってもその方が悔いはないかなと思えるようになりました。前期を受けるかどうか迷ったときに西岡先生に言ったらいろいろと話してくれて前期を受けることに決めました。前期を受けておいてよかったなと思います。後期のための試験会場のイメージトレーニングができて私的には結構役に立ちました。私は入試直前の1番最後の2月のぜんけん模試でS1で最下位になってしまいました。さすがにショックでその時から勉強する気になれなくなったりしました。同じくらいの時期に学校のクラスで前期に受かった人が半分くらいいて気楽そうに見えてしまってすごくうらやましかったり楽しく遊んでいるんだろうなと思って来たりしてなんだかとてもきつかったです。自習の時間も前期に受かった人は喋っていて何でもっと気をつけてくれないんだろうとストレスだったりしました。過去問のボーダーラインは5回やった中で2回か3回くらいきっていました。しかも倍率も高かったので余計無理だと思ってなぜか落ちたときの想像を毎日していました。しかし、西ダンのことを思い浮かべると自分は西ダンの中で踊りたいという強い気持ちがあってダメもとても津西に受かりたいと思って入試の2週間くらい前から死ぬほど頑張りました。3月は今まで毎日眠かった自分と違って勉強で睡眠時間が3時間とか4時間になってもなぜか全然平気でした。しかし、落ちるかもしれないのにこんなに勉強して無駄になるのではないかとやっぱり入試の1週間前はいろいろと思えてきてすごく精神的にもしんどかったです。あと、津西を受けるメンツもZやT1の人ばかりで頭いい人しかいなかったから自分は大丈夫なのかと不安になったりしました。家で勉強していてもいろいろとネガティブな考え事や想像をしてしまっはかどらなかつたりしたのでオネストの自習室に行ったらなぜか気が楽になって比較的はかどりました。環境を変えてみるのはありだとおもいます。あと西ダンが踊っていた曲を頭の中でかけてやる気を出したりしていました。やる気が出ないときは高校で楽しみにしていることを想像するのもありだと思えます。あと都築先生がくれた社会の冊子は本当にやっておくべきです。村田先生は三者面談を2回もしてくれてすごく考えてくれて、西岡先生は英語の神でもあり人格者でもあり、藪田先生は分からないところを分かりやすく教えてくれて、牛田先生はおだやかで、まさみつ先生も不安なことがあったときに大丈夫ですよと言ってくれて奈央先生はたくさんの助言と応援をしてくれて、そして都築先生は社会で分からない所をたくさん教えてくれてたくさんしゃべってくれて面白かったです。春から津西に通えるのも春休みがこんなにうれしいのもオネストの献身的な支えのおかげです。本当にありがとうございました。最後の最後まで結果はどうなるかわからないので諦めずに頑張ってください！本当に合格したいという強い気持ちと高い志があれば必ず合格できると思います。

川越高校 国際文理 K・Nさん

私は中 2 の秋にオネストに入りました。入ったときに学校の授業がわからなさすぎて定期テストの点数も全くよくありませんでした。でも、オネストに通い続けているうちに分からなかったところが徐々にわかるようになって逆に学校の授業で分からないと思うところはほぼなくなりました。またオネストの授業は学校の授業より何倍も楽しくわかりやすかったので嫌になることはなく、大嫌いだっただ数学も大好きな教科になりました。そこから定期テストへの不安もなくなり、中 3 の学年末テストでは中 2 の頃の順位からは想像もできないくらいにすごい順位を取ることができました。そのときはオネストに行っていてよかったと思いました。塾に入っていなかったら志望校に合格することは絶対に出来なかったと思います。たくさんのわからない質問に答えてくださった先生方にはとても感謝しています。オネストで勉強できて本当に良かったと思います。今までありがとうございました。

川越高校 普通 M・Sさん

最初入塾した時は数学、理科が全くできませんでした。いってしまうと英語以外は全然できませんでした。でも今、こうやって自信をもって数学ができるようになったと言えるのは HONEST の先生たちのおかげです。3 年生になってから補講が毎日あって眠たくて、しんどくて大変だったけど今思うとちゃんとあの時にやっておいてよかったと何回も思います。ちゃんと自分が理解するまで質問に何回も答えてくれてどこの塾よりも最高の先生たちの集まりです。そして、受験から解放された後の進学パーティーはもう最高に楽しすぎた！！来年や再来年に受験生になる人たちは不安で辛いかもしれないけど HONEST の先生たちは最強だからどんな時でもサポートしてくれるさ！

神戸高校 理数 M・Yさん

私は中 3 の冬期講習からオネストに入りました。それまでは進研ゼミを自分でやっていました。ですが、受験が間近に迫ってきて「直接進路を相談したい」「同じくらいのレベルの子と勉強したい」という思いで入塾しました。多くの塾の中でこのオネスト鈴鹿校を選んだ理由は「学校で成績上位の子が通っていて宿題は多いが面倒見がいい」と聞いていたからです。私は元々勉強に関して可もなく不可もなく人並みはできるという感じではありましたが、オネストに入ってみると自分の努力の足りなさが浮き彫りで少し恥ずかしかったです。入塾当初、大変なことはいろいろありました。学校で習っていない範囲がでたり、周りの子ができている基礎問題が解けなかった時はとても焦りました。冬期講習からという子はやはり少なく、解いてきた問題量の差を大きく感じました。解いてきた問題の量は顕著に学力にあらわれるなと思います。面倒くさくても答えを見ながらでも問題をしっかり解くことが大切だと実感しました。なんとか冬期講習を乗り切り、学校生活と並行しながらオネストでも楽しく勉強することができました。学校とは違い、学力でクラス分けされているので同じくらいの学力の子たちと勉強するということは自分にとってとても有意義なものになりました。初めはなにこれ怖！と思っていましたが自分にはこの仕組みがいいなと思っています。話は飛びますが、私は高専の推薦・一般両方とも落ちています。けれど、全く悔いは残っていません。受験校を決めるなら自分がしたいようにするのが得策です。無理してでも入りたい高校があるのならそれに向かっていくのが 1 番やりがいのある受験だと思います。自分の進路です。だから、「周りの人にやらされた」という受験にならないようにしてほしいです。私には行きたい大学があるからそれを目指してこれからも頑張っていけます。3 か月間オネストに通ったことに後悔なんて全くありません。長いようで短かったこの 3 か月は自分にとってかけがえのないものになりました。冬期講習からでも私はずっと T1 にいることができましたし、本気で頑張りたいという気持ちに遅いも早いもないなと感じました。「努力は報われる」とは限りません。けれど、努力する姿は何より素敵だと思います。終わったから言えることですが今思えば、受験に向けて勉強する日々も案外楽しくて解ける問題が増えていくこともとても嬉しかったです。苦しくてしょうがないなら楽しくやれる道を模索すればいいんだと思います。不安が大きいなら先生や仲間たちと話したり一緒にいたりすることで紛れるかもしれません。私はオネストに通ってよかったです。楽しく明るく接してくださった先生方、扱いにくい自分をここまで育ててくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。いろんな方に支えられてここまで来ました。諦めかけても落ち込んでも楽しんだもん勝ちです。自分を信じて努力してほしいです。本当にありがとうございました。

神戸高校 理数 N・Wくん

僕は 3 年の春期講習から入りましたが中々成績が上がらませんでした。出された宿題をこなしたり、授業も頑張って先生についていった結果、理数科に入ることができました。最後に理数科に受かりたい人は 3 学期の内申を最低でも 40 点を取っておくことをおすすめします。

神戸高校 理数 M・Rさん

私は中学 1 年生のはじめにオネストに入塾しました。私は昔から勉強がとにかく嫌いで家で自主勉強をすることができないタイプだったのでせめて本科の宿題だけはやり終えられるよう努力しました。あと、家では全然勉強できないため、塾での授業はしっかり聞き、分からない所があればすぐに質問をしに行っていました。たくさんの先生方は、私が本科後とかでも質問をしに行ったら理解できるまでとても丁寧に教えてくれたり、苦手分野の勉強方法やアドバイスまで教えていただき、本当にありがとうございました。特に村田先生には、私が進路のことで悩んでいるとき、相談したら一緒に真剣に考えてくれたり、前期前日の時には忙しいにもかかわらず私がお願いしたら面接練習にも付き合ってくださいと感謝しています。私が志望校に合格できたのはオネストの先生方のおかげだと思います。オネストに入ったきっかけはお姉ちゃんがオネスト生だったという理由だけだったけど、今では私もオネスト生でとてもよかったと思っています。先生方の授業がいつもおもしろく、とても楽しかったです。本当にありがとうございました。

神戸高校 理数 I・Aくん

私は中学 1 年生の春期講習からオネストに入塾しました。私は勉強が嫌いで塾に入るのも嫌でした。しかし、友達もできて、点数が上がったりして勉強が嫌いではなくなりました。しかし、家で宿題をすることがありませんでした。これは本当に後悔しています。中 1 と中 2 の皆さんは宿題をしてください。ゲームなどしたい気持ちなども分かりますが、絶対に宿題をしてください。これで本当に差がつかます。私が高校に合格できたのは先生たちのおかげだと思います。村田先生は確実に点を取れるようにしてくれました。例えば、答えが分かっている π を忘れたら π を 300 回書かないといけないなどです。また質問をしにいくと、丁寧に分かりやすく教えてくれたりしました。西岡先生はとても厳しく怖かったです。しかしいつも怖いのではなく、授業などのやらないといけないときは厳しく、普段話している時には楽しくしてくれて本当に楽しかったです。奈央先生は漢字テストなど多く行ってくれたり、文法問題を基礎から教えてくれたりして国語の成績が上がりました。末松先生はネタがおもしろいです(棒)。また、理科の暗記しなければならないところの覚え方などを教えてくれて、理科が分かるようになりました。都築先生は楽しく授業を行ってくれ、年号の語呂合わせなど色々考えてくれて社会の楽しさを知りました。藪田先生と牛田先生は授業はなかったものの補講や自習の時にとてもお世話になりました。勉強はつまらなかつたり、一人でやると続かないと思います。オネストの先生たちはとても楽しく授業をしてくれました。また、ライバルであり仲間である人たちが 100 人以上いるということは本当に受験につながったと思います。テストなどではクラスが分けられることで、1 点で勝負が決まるということや、辛いときに支え合ったりするのは多くの人がいるからこそできた経験だと思います。本当に 3 年間楽しかったです。ありがとうございました。

神戸高校 理数 K・Kさん

私は中 3 の春期講習から入りました。講習の宿題が多くて、部活との両立がとても大変だったけど、終わったプリントとテキストを見ると、達成感がすごかったです。ファイルに挟まったプリントは 10cm くらいで滑り台みたいでした。特に夏期講習は大変で、朝 6 時から部活で、9 時からオネスト、17 時に終わって、家に帰って、寝るのは 0 時くらいの生活を送っていました。正直死にそうでした。でも、死ななかったのはオネストの先生方とお父さんお母さんがいたからです。ありがとうございました。冨佳先生には特にお世話になりました。理科とか数学を教えてもらって、頑張れました。優しく教えてくれてお姉ちゃんみたいで憧れました。大好きです。オネストではいっぱい友達できて、嬉しかったです。私は数学が全然できなかったけど先生方のサポートのおかげで第一志望に合格できました。本当に嬉しかったです。部活が好きだった私は 11 月まで部活を続けていて、それから受験勉強を始めて、みんなに置いて行かれる気がして、先生に相談することもありました。志望校を変えるべきかなと思ったりしたけど先生方に背中を押されて頑張ろうと思えました。今から受験がある子たち、今勉強をしておかないと、きっと後悔します。私も 1 年、2 年の時さぼっていたせいで 3 年で困りました。「まだまだ先」と思っている、あつという間だったりします。頑張ってください。オネストの先生方、お父さん、お母さん、今までありがとうございました。高校生になりました。

神戸高校 普通 K・Yさん

私は、中 1、2 と違う塾に通っていましたが、なかなかやる気が出ず、いつも下の方の順位でした。その時は、焦ることもなく、よくお母さんやお父さんに怒られていました。ですが、3 年生になる前、自分が行ける高校が少ないということに気づき、3 年生になったら本気で勉強したいと思い、3 年生の春期講習からオネストに通うことになりました。オネストに通い始めて、今までの塾とは全く違うことに気づきました。生徒と教師の距離が近いことや人数がとても多いことにびっくりしました。塾に通う回数や宿題がとても多く、つらいと思うことはたくさんありましたが、たくさんの先生にサポートしていただいたことで、ここまで成長でき、神戸高校に合格することができました。今、自分でも神戸高校に合格できたことにびっくりしていて、まだ受かったことを信じていることができていません。オネストに通ったことで、2 年生の 3 学期から、3 年生の 3 学期まで私は順位を 50 位上げることができました。受験に近くなった時、なぜか私は勉強のやる気がなくなり、受験に合格できないのではないかとたくさん言われました。志望校を変更したほうが良いという話もあり、悩むこともありましたが、先生が私を焦らせてくれたおかげで、前より少し勉強のやる気が出て、神戸高校に合格できました。オネストに通っていて良かったなと思いました。

神戸高校 理数 K・Tくん

僕が進学塾オネストに入塾したのは、中学 3 年生の春期講習からでした。入塾した時は、S1 にいました。最初は「勉強なんかめんどくさい」とか「受験したくないな」と思っていました。そのあとのテストで T に上がることができましたが、勉強へのやる気は湧きませんでした。しかし、夏期講習の少し前になり、高校について調べるようになりました。僕は神戸高校を目指していたので「夏期講習では T に残りたいな」と思っていました。しかし、Z に上がることができました。すると毎日一生懸命取り組むようになりました。その結果、Z に残り続けることができました。冬期講習では、毎日夜の 1 時や 2 時くらいまで宿題をやりました。死ぬかと思いました。しかし、その努力が実り、前期で無事合格することができました。そして最後は Z で 4 位をとることができました。オネストで一生懸命頑張ってきてよかったなと思いました。厳しい言葉をたくさん言うけど、数学の質問に優しく丁寧に答えてくれた村田先生、わかりやすく覚えやすいように教えてくれた西岡先生、毒舌だけど丁寧に授業してくれた奈央先生、たまに変なネタを言うてくる末松先生、いつもテンションが高い都築先生たちのおかげで合格出来ました。オネストに入塾してよかったです。これからも頑張ってください。今までありがとうございました。

神戸高校 理数 M・Rくん

僕は、いつ入ったのか忘れてましたが、白子校の方から鈴鹿校へ移ってきました。最初、村田先生と西岡先生を見て体が大きいなとビビりまくりました。でも二人ともすごく優しく勉強、授業を受けるのが楽しくなりました。末松先生は優しいけど、声が高すぎて頭が痛いときとかはすごく響きました。都築先生は突っ込みがすごく毒舌で面白かったです。奈央先生はたまに無茶苦茶なことを言うてきました。こんな時間内に終わらんやろって突っ込みたくなるときもありました。それも面白かったし楽しかった。藪田先生は休み時間に質問したらしっかり教えてくれて分かりやすかった。牛田先生も質問した時分かりやすく説明してくれてうれしかった。正直、オネスト鈴鹿校で勉強できて超楽しかった。私の夢は先生になることでもっとなりたいたいと思えた。私は内申が 34 で自分では神戸の理数科は無理かもと思っていました。でも、あきらめずに数学と英語を頑張っていました。だから、当日に数学はすごく難しくてやばいかもと思ったけど英語は目と手があればできるくらいの問題で受かることができました。だから、成績が低いというだけで志望校をあきらめないでほしいと思います。私は初見は良い印象を与えることができるのですがあとから少しずつ印象が悪くなっていくらしいので今回受かったのはその初見だけ良い印象というスキルも多分ふくまれていると思います。なので、初見が良い印象という人は勝ち組だと思いますよ。西岡先生が甘いものを食べると集中力が上がり、頭が働きやすくなると言っていたのを信じて試験当日の朝ごはんをホワイトチョコ、プリン、ミックスジュース、アイスクリームにして挑みました。すると、自分でもびっくりするくらい、いつもより問題をスラスラ解けた気がします。面接は私だけが思っているだけかもしれないですが面接官が 3 人で右から発表を聞く人、態度を見る人(足など)、顔や他人の発表をきちんと聞いているかという担当を決めているのではないかと思います。理由(右の人は発表者を見てメモをしていた。真ん中の人は、足などを見ていた。左の人は発表者以外の人の顔を見ていた。)まあでもここまで考えることができるようになったのは、オネストでの特訓のおかげだと私は思います。ありがとうございました。

神戸高校 普通 M・Mさん

私がオネストに入塾したのは中 3 の 11 月で遅めのスタートでした。学校での順位しか知らなかった私はまず全国模試で自分のレベルを知りました。もともと勉強がきらいで集中力もなかった私にとってオネストは本当に良い場所でした。オネストに入り初めて迎えた長期休暇。冬期が始まり毎日プリント三昧で新しいファイルがパンパンになったのは今でも印象的です。そのファイルは今でも大切に持っています。(笑)冬期中の宿題は本当に多くて朝 4 時までかかった日もありました。今ではいい思い出です。でもここまで自分を追い込んだことがなかったから追い込む機会をつくってくれたオネストの先生方には感謝でいっぱいです。そのおかげで第一志望の学校に受かることができました。オネストに入って本当に良かった！

神戸高校 理数 T・Gくん

私は中学 1 年生の頃からオネストに通っていました。私はオネストに入ったときはずっとドベにいました。私は 1 年生の頃から神戸高校に行きたいと思っていました。しかし、私は 1 年生の頃の成績は 90 位ぐらいだったため親にこのままじゃ神高行けないぞと言われ、まずその時英語の成績が下がっていました。私は 2 年生のときから英語の文法をたくさんしました。そして英語の文法だけでは英語の点数が上がらないため、長文を 1 日 1 回することを心掛けていました。西岡先生に「1 日 1 長文」ということを 3 年生のときによく言われると思いますが、その通りです。3 年生になってからは理数科を目指すために数学の勉強を始めました。数学は得意教科だったため、少し勉強をするだけでよいと考えていたのですが、中学 2 年生の頃からの単元がしっかりできていませんでした。また、国語は中学 2 年生の頃はできていたのですが、中学 3 年生からはあまりよくできていませんでした。そのため、私は毎日日本を読んでいた。また、自分で国語の問題集をとにかくたくさんやりました。しかし、まったく伸びなかったため私はもう国語を捨て気味でした。そんな私も受験の日がやってきました。鈴鹿高校での受験はあまり緊張しませんでした。ほとんどの人が神中生だったからじゃないかと友達と話していました。要するに私立はあまり緊張しません。(私の意見です。)しかし、前期の時は全く別でした。私は前日からとても緊張しました。しかし、行ってみれば友達顔を見たことでとても安心しました。前期の試験はみんなできなかったといいますがあまり信じてはいけません。なぜなら、私が出来なかったと言っていたが受かっていたからです。私は受かっていないと本当に思っていました。なんと、英語の英作文を 1 つも書いていなかったからです。前期でアクシデントなどがあっても落ち着いて他の問題を解いていけば受かります。数学と英語は日々の努力または才能が絶対必要です。もし数英がある前期に受かりたいと思っているのならとにかくいろいろな問題を解く必要があります。

神戸高校 普通 N・Rくん

僕はオネストに入塾してしていなかったら神戸高校には受かっていなかったかもしれません。オネストは宿題が多くてできない日がたくさんありましたが中 3 の冬休みからは先生も厳しくなりました。それから僕は宿題をやり始めて成績が上がりはじめました。

神戸高校 普通 K・Cさん

私は、中 3 の夏期講習からオネストに入りました。それまでは塾に行ったことがなく、オネストが初めてでした。噂通り夏期講習の宿題の量が多かったです。しかし、授業の面白さや内容の濃さは学校よりもオネストの方が濃かったです。どの先生も質問をすると全力で答えてくれました。だから、分からないことが分かるようになり、学力をぐんぐん伸ばすことができたと思います。そして、志望校に無事合格することができました。特に、英語が伸びたと思います。今までは英語が 1 番の苦手科目だったけど、冬休みが終わるころにはだいぶ点数が上がりました。本当にオネストで良かったと思います。勉強が嫌な人もいます。ゲームとかしたくなる事があると思うけれど、その時だけの満足感で行動するとめっちゃくちゃ後悔すると思います。受験が終わってから後悔しないために勉強をちょっとでも頑張ってください。

神戸高校 普通 Y・Sさん

私は中 3 の夏にオネストに入りました。たったの半年間ではありましたが今までで 1 番長く感じた半年間でした。特に冬期講習では先生から毎日大量の宿題・プリントが渡され、家に帰ってからも宿題に追われて、夜中の 1 時過ぎまで眠れなかったことがとてもつらく、しんどかったです。でも、家にあるとても厚くなった夏期講習・冬期講習のファイルを見て、しんどかったけど頑張ってきてよかったなと思います。また、受験前に本番でいつも通り問題を解けるか不安だった時にこの厚くなった講習のファイルを見ると「自分はこんなに問題を解いてきたんだ」と自信がわいてきました。本当に今まで頑張ってきてよかったと思います。本当にありがとうございました。今まで本当にお世話になりました。高校生になっても勉強頑張ります。オネスト大好きです。

神戸高校 普通 O・Hくん

僕は小学 6 年生のときにオネストに入りました。僕がオネストに入ってよかったと思うことは 2 つあります。1 つ目は受験をともに挑む仲間がたくさんいることです。小 6 からずっと S1 だった僕に T クラスに行くモチベーションをつくってくれたからです。そのおかげで冬期講習だけは T2 になれました。2 つ目は学校の先生よりも熱い先生たちがいることです。この先生たちがいなければ、僕は志望校に合格できませんでした。色々いじられたりしたけれど僕はオネストに入ってよかったです。

神戸高校 普通 T・Hさん

中 1 の時からオネストで勉強を始めました。宿題が多すぎて間に合わないことが何度もありました。しかし、先生たちは「次はちゃんとやれよ」と言って笑ってくれました。分からない問題を聞きに行ったとき、1 回で理解することができなくても何回も説明してくださったのでしっかり理解することができました。1 年生や 2 年生の頃はあまり勉強をしていなかったのに 3 年生になってもっとしていればよかったなと少し後悔しました。だから、後悔しないように早い時期から勉強をしっかりできるようになってほしいと思います。3 年生になってから毎日塾に自主勉強をしに行くようになりました。授業の間のちょっとした時間でも質問に答えてくれたり高校を迷っていた時もしっかり話を聞いてくださったり、真剣に向き合ってくれました。本当にうれしかったです。ありがとうございました。

神戸高校 普通 T・Yくん

僕は中 3 の秋まであまり勉強をしませんでした。冬休みの直前に先生から「神戸高校に受かりたいという気持ちが感じられない」と言われました。このことを言われ、僕は勉強の仕方を見直そうと思いました。冬期講習の間は少しずつ勉強の時間を増やしていき、1 月や 2 月は倍くらい勉強量を増やすことができました。この経験から自分にとって勉強することは大切なんだと思いました。そして先生たちは 1 人 1 人きちんと見ているんだなと思いきごく嬉しかったです。5 年間ありがとうございました。

神戸高校 普通 S・Nさん

私は中 1 の冬期講習からオネストに入りました。苦手だった数学では毎回ピヨ会に呼ばれていました。ですが、そのおかげで今までしていた基礎の問題での間違いがだんだん少なくなってきたことが実感できたときは嬉しかったです。私は勉強で調子がいいときと悪いときの差が激しいタイプで中 2 の後半くらいから調子は悪くなるばかりでした。そんな中の冬期講習のクラスは S2 になり、神戸高校は目指せないと思いました。さらに、私立入試直前にインフルエンザにかかり、学年末もボロボロでした。本当にやばいと思いました。それでも神戸高校に受かったのは先生たちや毎回送迎してくれたお母さんのおかげです。本当にありがとうございました。

神戸高校 普通 O・Sさん

どこの塾に行っているのかを聞かれてオネストに行っていると答えると「賢いとこやんか！すごい！」というのでオネストの知名度は本当にすごいなと思います。私もオネストに行くまでは賢い人が行くところなのかと思っていたけれど、今ではオネストに行っているからだんだん勉強ができるようになっていくんやなと知りました。学校がない長い連休の時もオネストに行って友達に会うから休み明けの学校行きたくない感があまりなかったり、宿題多すぎるよなって言い合ったり、勉強しに行くだけじゃなくて学校のような感覚で友達といっしょに居れてとても楽しかったです。勉強面では、夜遅くまでわからないところを聞いたり、補講に行ったりして苦手なものや得意なものとの差がすごくあったのに、5 科目ある程度均等になってきてだんだんできるようになってくださって、オネストに入ってよかったなと思いました。先生に対して生徒の数が多いの一人一人把握してもらえてうれしかったです。もっと前から HONEST に入っていればどうなっていたんだろうかと思っています。

神戸高校 普通 H・Nくん

私がオネストに中学 1 年生で入りました。私は 1 年と 2 年の時は勉強の習慣がなかったのでオネストの存在がありがたかったです。私は 1 年生の時ずっと行きたくない時期がありました。そのとき、勉強の習慣がつかしました。しかも、オネストは勉強だけでなく人間としても学ぶことができました。夏期講習ではたくさんの宿題が出されていたけれどまったくできませんでした。けど、冬期講習では毎日の宿題をちゃんとすることができました。私立の受験の時はめちゃめちゃ緊張していたけど村田先生がいてくれたおかげで緊張することなく受験することができて本当にありがたかったです。私は県立の受験をぎりぎりまで迷っていて西岡先生が神高を受けた方がいいといってくれなかったら挑戦もせず諦めていました。しかし、本命の高校に合格できたのは西岡先生が背中を押してくれたからです。本当にありがとうございました。3 年間ありがとうございました。

神戸高校 普通 T・Aさん

私は12月からオネストに入りました。オネストに入る前までは長い時間勉強する習慣はありませんでしたが、冬休みに入り冬期講習が始まると鬼のようにプリントが出されたので毎日寝る時間が夜中の1時や2時でした。でもあの時頑張っていなかったら、今志望校に合格することはできなかったと思います。オネストの先生方は勉強面だけでなく他の相談にもものってくれてとても優しい先生ばかりでした。初めは友達ができるか不安でしたがみんな優しく面白い人ばかりなのですぐに馴染むことができますと思います！中3の冬休みは自分が今までに体験したことがないくらい長い時間勉強することになると思います。でも、1月のぜんけん模試で必ずその努力が結果となり、あらわれるはず。辛いこのときを乗り越えれば思いっきり遊ぶことができるので最後まで諦めずに頑張ってください。迷ったときはオネストの先生に相談してください！そうすれば必ず相談にのってくれます。そして当日悔いの残らないように全力を出しきってください！

神戸高校 普通 Y・Rくん

私は中学3年生の夏期講習からオネストに入りました。オネストで初めて授業を受けたとき「こんなに熱い先生(特に西岡先生)がいるんだな」って思いました。でも熱いだけじゃなくてすべての授業がとても興味深く、すぐに本科の授業にも行きたいと思って入塾の手続きをしたのを覚えています。また、こんなに生徒一人一人のことを考えている塾はないなと思いました。私は夏期講習を頑張ったから成績も上がり、T1クラスに入ることができました。しかし、T1のレベルは高くついていけるか心配でした。私は宿題をしっかりとやって補講にもすべてでました。そしたら次も残ることができたのでこれを読んだ人は必ずすべての補講に出て宿題をやった方がいいですよ！私はそれで成績を伸ばしました。冬期講習は本当に大変で辛かったです。でも私は冬期講習の後のぜんけんで点はそんなに伸びず村田先生が言っていたおつりができるほどの偏差値はなく、とても不安になりました。でも村田先生に「伸びなかったやつはこの後どうするのかよく考えろよ」と言われて冬期講習の取りこぼしを片付けて高田・鈴鹿の希望した類、そして2月のぜんけんについてZに入ることができました。だから、先生の言葉をしっかりと聞いて実行していくことが大切だと思います。私は過去問で神戸高校の理数科のボーダーを越えていていつも通れば受かると思っていましたがテストの出来は悪く、発表日にスライドしているのを見て本当に悔しかったです。入試は本当に何があるかわからないなと思いました。最後に今まで指導していただいた先生方、本当にありがとうございました。オネストで培ったことを忘れず高校生活を頑張りたいと思います。半年間でしたがありがとうございました。

神戸高校 普通 M・Hさん

私は中3の夏期講習からオネストに入りました。驚くほどの宿題の量で寝るのは毎日日付が変わってからでした。その時はとても辛かったです。今となってはとても感謝しています。出された宿題をすべてやり切ったから合格できたのだと思います。こんなに生徒のために時間をかけてくださる塾はオネストだけだと思います！オネストに入る前は英語が一番苦手。いつも足を引っ張っていました。しかし、西岡先生に出会い、INTERESTINGな授業をしてくださったおかげで英語が楽しくなり、今では一番の得意科目となりました。本当に感謝しています。他の先生方も個性的でおもしろくとても優しく、毎日本楽しく勉強に取り組むことができました。後輩の皆さん！辛くて嫌になることもあるかもしれませんがオネストの先生方を信じてください！必ず合格させてくれるはず。最後になりますが短い時間で私を成長させてくださり、本当にありがとうございました。オネストに入ってよかったです。

神戸高校 普通 Y・Nさん

私はオネストで3年間お世話になりました。1・2年生の時はなぜか塾での模試よりも学校の定期テストの点数の方が低く、それにとまって内申も低かった。母や学校の先生にいつも心配されていました。ですが、3年生になってオネストの先生方が授業中によく入試の話をしてくださって勉強に対する意識が少し変わり、定期テストの順位が上がりました。この勉強に対しての意識が変わるタイミングがもっと早ければもっと成績が良くなっていたかもしれないと思っています。だから、これから高校受験をする皆さんには後悔のないように勉強に取り組んでほしいです。最後に、私が志望校に合格できたのはオネストの先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

神戸高校 普通 M・Yくん

僕は中学生からオネスト鈴鹿校に入塾しました。初めはいつか先生だらけで沢山宿題があって驚きました。でも先生方の熱い指導で最後までやりきることができました。オネストで学んだことは継続です。この継続を武器に頑張っていきます。西岡先生、授業中に全く関係のない話をしてとてもおもしろかったです。西岡先生の英語の授業のおかげで英語の面白さに気づけました。僕が受験勉強を通して分かったことは毎日勉強を続けること、分からないことをその日のうちに解決させることが大切だということです。オネストでの宿題をしっかりとすれば自分の思い通りの道へ突き進むことができます。最後にオネストの先生方、本当にありがとうございました。

神戸高校 普通 N・Mさん

私は小6の終わりからオネストに入りました。中3の夏、みんなは部活を引退していましたが私はまだ引退していませんでした。私よりも一足先に勉強に取り組んでいる皆に「おいて行かれるのでは」と焦りを感じていたけれど勉強をする気にはなれませんでした。そのまま夏休みが終わり、2学期に入りました。夏休みに勉強を頑張らなかつた私はテストで思うような点数がとれませんでした。このとき私は本当に勉強をがんばらないといけないなと思いました。冬期講習では中1や中2と比べ物にならないくらいプリントや小テストの量が多かったです。数学の小テストではミスをしたら追加でプリントをしたり、宿題に追われ寝る時間が遅れてしまったりとても辛かったです。でも、苦手だったところなどができるようになりとても嬉しかったです。講習が終わってから見たときのファイルの厚さにはとても驚いたけれどこれだけ頑張れたんだと自信にもなりました。受験当日はとても緊張したけれど今まで支えてくれた先生たちのおかげで力を出しきることができました。その結果、合格することができました。後輩の皆さん、これから夏期講習や冬期講習など大変だと思うけど頑張ってください。今までありがとうございました。

神戸高校 普通 T・Hくん

まず、オネストの先生方には感謝です。学校の先生方には神戸は無理だと言われ続け、成績もちょっとずつしか伸びず、その割には塾の中では調子に乗るといってしまうような人でしたが、それでも自分を志望校へと行かせようとする先生たちにはいつも助けられてきました。本当にありがとうございました。西岡先生に「邪念」とあだ名をつけられ、たいして名も知れてないのにいじられたのはこれからも記憶に残り続けることでしょう。でも、僕に「神戸突っ込めよ」と言って僕に一番の勇気をくれたのも西岡先生です。オネストの先生方はいろんな意味ですごいです。(笑)そして後輩のみんなにもオネストの先生の言葉を信じて頑張ってもらいたいです。オネストの先生方の言葉に間違いはありません。僕は志望校に、点数も内申も足りていませんでした。なので、学校の先生に神戸は無理だと言われました。それでもオネストの先生方はずっと僕を支えてくれました。マイナスな発言は一切せず、応援してくれました。その結果、僕は志望校に合格することができました。最後にオネスト生のみんなにはこれからも勉強をあきらめずに励んでほしいです。困ったときは遠慮せずにオネストの先生方に相談しましょう。良いアドバイスをくれるはずですよ。2年間という短い間でしたが、オネストで多くのことを学ぶことができて本当に良かったです。ありがとうございました。

神戸高校 普通 N・Sくん

私はオネストに小学生の時に入り、中3まで通い続けて、宿題を忘れてしまったりすることがあって今思えばもったいないことをしたなと思います。受験が近づいて不安になってくるときに何よりも自信になるのは今までの自分の努力だと身をもって感じました。中1の段階ではまだ受験は先だと思うけれど3年間は部活などもあってすぐにたってしまう。中1だからと手を抜かずに勉強してほしいなと思います。オネストではたくさんの先生にお世話になりました。村田先生は授業が楽しくて一番終わるのが早く感じました。西岡先生はINTERESTINGな授業をしてくれ、奈央先生は常に自分たちのことを考えてくれました。末松先生はいつも元気で自分の進路に真剣になってくれました。藪田先生と牛田先生はたくさんの質問に答えてくれて都築先生は一人一人の答えを真剣に見てくれました。こんな先生がいたからこそ高校に入学することができたと思います。オネストに出会えてよかったです。

神戸高校 普通 S・Kくん

僕は小5の夏期講習からオネストにきました。中学生になって初めてのテストで高い順位をとることができ、とても嬉しかったことを覚えています。この時期は塾で勉強していれば高い順位は取れると思います。しかし、中2の時に初めて3桁の順位を取ってとても驚きました。しかし、悪かったのはすべて自分であるということも同時に分かりました。やはり、宿題などをいい加減にすると成績も落ちます。今でも後悔しています。しかし、後輩の子はまだその後悔を味わっていないので伝わりにくいと思うけど、1つだけいえるのは宿題をちゃんとすること。これは誰もが言うと思う。後悔した自分だからわかるので、宿題をちゃんとすることは大事だと言っておきます。後悔先に立たずやから今頑張れ！そして何より重要なのはオネストへの感謝の気持ちです。オネストの先生方に怒られたり注意されたりすると思う。講習の時の宿題の量に圧倒されたりすると思うけど、それだけ生徒を見守っていると思います。絶対にあとでその努力が役立つから今はオネストの先生を信じて受験まで進めばいいと思います。

神戸高校 普通 C・Aさん

私は中学 1 年生の春からオネストに入りました。はじめは知らない人ばかりで勉強でもわからないことが多く、とても不安でした。でも春期講習ではオネストの先生方が熱心に私たちに分かりやすい授業をしてくれて質問をしたときには優しく対応してくださり、それでもわからないときは隣でサポートしてくださったり、だんだん私は分からないところを克服できるようになっていきました。特に数学は本当に分からない所だらけで村田先生には本当に世話になりました。3 年間もピヨ会に招待していただきありがとうございました(笑)。私は 3 年間オネストに通って勉強のことだけでなく他の学校の友達もできたり、先生方ともたくさん楽しいお話をすることができて充実した日々を過ごすことができたと思います。HONEST で学んだことを活かして勉強したり、先生のことを思い出したりしてこれから楽しい高校生活を送ることができるように頑張ります。オネストでの授業を受け、学校の定期テストやオネストの模試で良い点数をとれた時は本当にうれしかったし、もっと頑張ろうと思えました。テストの点数が上がったことで内申は 1 年生と 3 年生を比べると 10 も上がりました。こんなにも私たちのことを第一に考え、熱い指導をしてくださる塾は HONEST だけです。毎日送迎してくれたお父さんやお母さん、いい環境で勉強する機会を与えてくれた先生方には感謝しかありません。本当にありがとうございました。また、オネストに遊びに行きます！

神戸高校 普通 K・Hさん

私がオネストに入ったのは中 1 のときです。他の塾とも迷ったけど、明るく親しみやすい先生が 1 番いると思ったからです。そして私の思った通り・・・いや、想像以上に頼もしくて面白い先生だったのでこの 3 年間めっちゃ楽しく、でもしっかり勉強できました。やっぱり一番つらかったのは冬期講習です。宿題があほみたいに多くて 1 日 12 時間勉強の名は伊達じゃない。正直夏休みは結構さぼり気味でした。部活・・・とくに吹奏楽部の人はやるひまがないし(ちゃんとやろうと思ったら朝 3 時くらいまでかかるらしい)仕方のないこと。(笑)でもちゃんとやればよかったなど今でも思っています。私がオネストを通して学んだのは継続は力なりってことです。日々の宿題、ちゃんとやっていないオネスト生に告ぐ。ちょっとくらいさぼってもいいやろうと思っている輩にも、神中吹部の！！人々にも告ぐ。毎日どんだけ忙しくても部活で疲れていても勉強はした方がいいと思います。オネストの宿題も絶対やった方がいいと思います。特に女子。男子よりも女子の方が急に伸びたりしにくいから。5 分とか 10 分とかいいからやったほうがいい。受験はマラソンみたいなもので最低でも中 3 初期くらいから積み重ねとくといいい。どんな小さなことでもそこをやり続けられるかやり続けられないかが大きな壁につながっちゃうんだと思います。あとは前期受けるか受けないかで迷っている子に告ぐ。絶対受けた方がいいですよ。受けないで蓋開けてみたら「自分よりも下の人がじゃんじゃん受かつとる」みたいなことになることもあります。あるいは落ちて悔しさをばねに立ち上がれば何の問題もない。前期は「落とす試験」なんだから受ければラッキーぐらいで突っ込んでいけばいいと思います。後期はなめてかかったら落ちる。油断は禁物。過去間ちょっと良かったからって 3 日気を抜くとスライドします。せっかくオネストっていう心強い盾があるんだからいっぱい質問して先生たちを不眠に追い込み補講も行くべし。オネストで無駄な補講は一切ないんだから行かなきゃ損しまくります。でも頼りきりはだめ。最終的には自分の力で合格させなきゃなんだから自分のやりやすい勉強方法を見つけて最後は自分の手で勝利をつかむべし。私は理数科をスライドして普通科です。正直こんなに面倒見てもらったのに悔しい。受かって嬉しいけど悔しいです。でも夢の神高吹部ライフを送れるのががんばりますけど。だからオネスト生のみなさん、最後に。時間は戻ってこないんだから鈴鹿 1 のグレー企業オネストに頼りまくりの最後は自力でしぼれ、自分を。受験というでっかいマラソン大会で道中に倒れてもいいから雑巾みたいに自分を絞って頑張れ。そしてほぼ黒に近い灰色だけど頼れる先生方。今までありがとうございました。神戸受かって嬉しかったです。先生の力なしには多分、私は不真面目すぎて受からんだ。本当の本当にありがとうございました。いつかここで働く機会があればその時は存分にこき使ってください。さんきゅうオネスト。また逢う日まで。

神戸高校 普通 O・Mさん

私は中 1 の秋からオネストに入りました。私がオネストに入る前に思っていたことは「頭いい人しかおらんやろうな」「先生とか絶対怖いやん」など不安なことばかりでした。でも入ってみるとオネストの人はみんな優しく、先生にも気軽に話しかけられる私にとって居心地の良い場所でした。その上、オネストに入ってから学校の成績も上がっていきました。私が神戸高校に入りたいと思い始めたのは中 2 の夏ごろでした。その時は全く神戸高校の偏差値に達していませんでした。学校の先生には「中 3 になったら中 2 以上に頑張らな無理やで」と言われました。私はそれが悔しくて「絶対に神戸に合格する」と思い、夏期講習と冬期講習明けのぜんけん模試では偏差値を上げることができました。そして神戸高校に合格することができました。ずっと憧れていた神戸高校に合格できた時は本当に本当に本当に嬉しかったです。私が合格できたのはオネストの先生方が最後まで私を支えてくれたおかげです。私は村田先生、西岡先生、奈央先生、末松先生、藪田先生、都築先生、牛田先生じゃなかったらここまで塾を続けていなかったかもしれないし神戸高校を目標にできていなかったかもしれません。だから 7 人の先生たちには感謝してもきれません！本当にありがとうございました。そして私が進路のことで悩んでいる時に話を聞いてくれた友人、いつも送り迎えや様々な場面でサポートしてくれて合格発表の時には誰よりも喜んでくれた家族にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。最後にこれから受験生になる皆さんに 2 つ伝えておきたいことがあります。1 つは努力は報われるということです。皆さんの周りの友達には私立や前期で決まる人がたくさん出てくると思います。そこで自分も一緒になってなまけてしまうのはよくありません。最後まで努力し続けた人が合格できると思います。だから最後まで諦めずに頑張ってください。2 つ目は両親に対しての気持ちです。中には「勉強しなさい」と言われ「うるさいな」「今からしようと思っていたのに言われたからやる気なくした」等思っている人は多いと思います。実際私がそうでした。でも合格したら両親のありがたみがすごく実感できました。受験勉強を頑張っている時はとても親のことをうざく思うかもしれませんが、その気持ちはとても分かります。でも親は自分のことを思ってくれていることを忘れないでください。受験が終わったら必ず親に対するありがたみを感じると思います。長くなりましたが自分の行きたい高校に向かって最後まで頑張ってください！オネストの先生を信じてついていってください！本当に今までお世話になりました！ありがとうございました！HONEST 最高！HONEST 大好き！

津東高校 普通 N・Kくん

私は中学 2 年生の時にオネスト鈴鹿校に入りました。なぜ、ここに入ったかということ、評判がすごくよかったからです。「この授業はすごい」とか「サポートが手厚い」とか「熱心」とか「成績が上がる」とか。私は鼓ヶ浦中学校出身なので、めっちゃ遠いんですけど、評判がよかったから、とりあえず入りました。ここに通い始めて思ったことは、村田先生と西岡先生の声が似ているということです。当時はあまり違いがわかりませんでした。最初のうちは成績が伸びなくて、それを部活動のせいにしていました。けれど、引退してから伸びず、そこでやっと「自分がサボっていただけだ」と気づきました。普通ならそこで自分を見つめ直し、心を入れかえるんだと思いますが、私は普通ではないので、その後もサボり続けました…。しかも、負けず嫌いではなく、別に負けてもいいという考え方なので、周りの人とどれだけ差がついても全く気にせず、「よし！頑張ろう。」という気にはなりません。逆にすごいかな？ せひみなさんは負けず嫌いになってください m() m そんな感じで夏期講習は終わりました。時が流れ、私は勉強するのがというかオネストに行きたくなくなりました。第一の理由は同じ中学校の人がいないということで、もう違う塾に変えようと思いました。そして、白子のオネストに体験に行きました。その体験のおかげで、オネスト鈴鹿校の授業のすごさや特別さを実感することができました。っていう思い出話は置いて、ここから違う話をします。～感動～オネストが行う進路説明会は学校のよりも数十倍、数百倍感動しました。その中で一番印象に残っているのは、先生方が言っていた「私たちに任せてください」という言葉です。この言葉を聞いて、「この塾は本物だ、この塾はどこよりもすごい」と思いました。～私立受験～鈴鹿のときには先生達に会えなかったけど、高田のときに西岡先生達に会えました。そこで、応援してもらえて、とても心強かったです。ここだけの話、実は鈴鹿と高田の過去問を 1 年前と 2 年前をやっていません。ごめんなさい(笑)～前期受験～英語では英作文を中心に、数学ではミスをしないように勉強しました。～最後に～村田先生、西岡先生、西岡奈央先生、末松先生、都築先生、藪田先生、牛田先生、本当にありがとうございました。オネスト鈴鹿校でよかったです。～みなさんへ～内申点 32 の毎日だからしている私でも、前期津東に受かったんですから、みなさんも自信を持ってください。

津東高校 普通 M・Tくん

約 3 年間お世話になりました。生徒たちが先生達に質問すると分かりやすい説明をしてくれて、ありがとうございます。特に末松先生にはいっぱいかまってもらったのでとても感謝しています。村田先生も最後まで熱く、他の先生も全員最後まで生徒たちのことを見ている、本当にすごいと思います。西岡先生に例文を書いた方が良いつて言われて、やってみたら、本当に点数が上がったし、都築先生と末松先生の作ってくれたプリントをやったら点数がまた上がったので、オネストの先生たちはすごいと思いました。津東に受かることができたのは 200%オネストのおかげなので、心から感謝しています。オネスト最高!!

津東高校 普通 I・Kさん

私は、中学 2 年の冬くらいにオネストに入りました。どんな塾がぜんぜんわからなかったけど、私のいところに入って楽しそうだったので入りました。でも、入ったとき、楽しいことはほぼなかったで、めっちゃ嫌になってました。私は、じつとできない系の人間だったので話す人がいなくて嫌でした。でも、英語の授業の最初の雑談のときに、私の好きなBIGBANGの話をして、内心めっちゃ喜んでいて、そこから楽しいって思い始めました。本当にこれで学力上がったん。っと最初めっちゃ思ってた。でも、めちゃくちゃ上がってて、びっくりしたし、オネストすごって思いました。入ってから順位が 30 位くらい上がったし、内申も 10 上がったのでめっちゃすごって思いました。3 年生で初めて夏期講習に行ったとき、友達たちはふつうに遊んでたから、私も遊びたい。とかこんな時期から勉強する意味あるー？って思っていたけど。今はがんばってよかったってめっちゃ思います。しかも、夏期講習の昼のとき、めっちゃ楽しかった。。。楽しいし、学力上がるし、夏期講習のことを今は尊敬します。あと、冬期講習では、クリスマスをつぶされたけど、オネストでクリパをしたときはめっちゃ楽しかった。勉強しかしてなかったから、余計、楽しく感じたように思います。志望校を決めるときに、「ぜったい入れる高校でいいや〜。」って思ってたけど、面談のとき、上を目指せって言われ「絶対行こう。」と思いました。オネストに入らんかったら、こんなにも勉強してないし津東のSクラスにも入れてないし、入ってよかったと思います。本当に。先生たちも夜中まで仕事しとってすごいと思う。オネストに入ったら学力が上がるし内申も上がるから最後までがんばることが大事!! Fight!

津東高校 普通 S・Nくん

私はそもそも勉強が嫌いで中 1、中 2 と勉強よりも部活や遊びを優先してきました。その結果、半分以上の教科に遅れがでてしまい、苦手教科である英語は取り返しがつかないくらいまで遅れてしまいました。ですが、2 年生の時に西岡先生に呼び出されて、このまま 3 年生になって受験をむかえると志望校のボーダー点数にはとどかないという話をしてもらって、本当にマズイと気づくことができました。もし、その時に声をかけてもらっていなかったら、確実に志望校に入ることはできませんでした。それでも結果的に英語の点数を上げることはできなかったけれど、他の 4 教科の点数を上げることができたので、西岡先生に 2 年生の時、呼び出してもらったことをとても感謝しています。また、受験が終わってから、もっと 1 年生から勉強していればよかったと後悔しているので、勉強は遅れる前にしっかりと理解しておくべきだと学びました。

津東高校 普通 S・Mくん

僕は中 1 の冬期講習からオネストに通いました。元々新中 1 準備講座の時に、親から入ることをすすめられましたが、部活動が忙しかったので、一度断りました。オネストに入るまでは、塾というものは、学校とは違い厳しい場所だと思っていましたが、兄が入っていたこともあり、先生方はとても優しくしてくれて、とても安心しました。3 年生になり、部活動も引退して受験生という実感を持ちましたが、その分焦りができました。しかし、夏期講習や冬期講習などの先生方の熱心な指導を受けて、中 1・2 年生の時より比べ物にならないくらい勉強意欲がわき、勉強を頑張りました。高校でもオネストで学んだことを忘れず、勉強と高校生活を楽しまたいと思います。そして受験生は頑張ってください。

津東高校 普通 M・Sくん

僕は中 1 の春期講習からオネストに入りました。この 3 年間で一番えらく感じたのは 3 年の冬期講習です。冬期講習は、朝はその日のテスト勉強をして、オネストが終わってから得た力を発揮しようと、1 月のぜんげんに挑みました。しかし、結果は 9 月のぜんげんとあまり変わらず、また、英語がさらに悪くなったので少しショックを受けました。それから、西岡先生に言われた英作ノートを作って、復習したら、2 月のぜんげんで英語の点数が前回よりも 12 点も上がり、入試ではあまり英語で足を引っ張ることなく合格することができました。最後に英語が苦手だという人は、英作ノートを作ることをおすすめします。僕はHONESTに入って良かったと思います。今までありがとうございました。

四日市西高校 普通 T・Kくん

僕は中 2 の春に入塾しました。最初の半年間ほどはずっと S2 クラスでした。しかしこのときはまったく受験を意識していなかったで、S2 クラスのままでもいいと思っていました。それからできるだけ宿題をするようにしたので、S1 クラスに居続けることができました。僕は S1 クラスに残りたかったので少し勉強する習慣がつかしました。学校の順位も 100 位ほど上げることができました。しかし、3 年になると部活を引退し、さらに勉強する人が増えたので周囲の人に追いつけなくなりました。これを読んでいるオネスト生のみなさんは、中 3 で部活を引退したら、すぐに勉強の量を増やすようにするといいと思います。しかし、オネストの先生方の授業や補講や進路指導のおかげで合格することができました。最後になりましたが、教えてくださったオネストの先生方本当にありがとうございました。

四日市西高校 普通 M・Mさん

私は中 1 の春期講習からオネストに入りました。小学校から中学校へ変わり、勉強の内容についていけるのかなど不安を抱えていたとき、オネストの体験授業を受けました。先生方がおもしろく、内容も分かりやすかったので入ることに決めました。オネストに決めてよかったと思っています。中 3 のときの夏期講習と冬期講習は、めっちゃくちゃきつかったです。私は文化部だったので夏期講習では部活との両立でした。朝、早くに起きて、午後 3 時ぐらいまで部活。夜から塾があり、終われば山のような宿題…。そんな地獄のような日々が毎日続きました。しんどかったです。休みだった土日が発狂するぐらいうれしかったのを覚えています…。笑。冬期講習では、土日も塾になり、しんどいのがさらに増しました。分からないところを先生に聞きまくったけれど、あきれずに丁寧に教えてくださった先生方、ありがとうございます！先生たちの授業は全部 interesting な授業でした！最高に楽しく、おもしろく、分かりやすかったです！本当にありがとうございました！

四日市西高校 普通 U・Aさん

私は、中 1 の夏期講習からオネストに入りました。中 1 の最初の頃は宿題が多いと感じ、正直さぼりがちでした。しかも、学校とオネスト、どちらもテストの成績が悪い状態でした。このままではいけないと思い、中 2 あたりから、真面目に宿題に取り組むようになりました。そして、中 3 になると、夏期講習や冬期講習が始まり、宿題をするだけでなく、特に苦手な数学の分からない所を先生に質問するようになりました。今までは、分からない所そのままにしていたので、質問をするようになって、できるようになった部分が増えました。今思うと、オネストに入らなかったら、成績がこんなに上がっていなかったと思います。オネストの先生方に本当に感謝しています。冬期講習が終わったあとに、毎日質問に対応してくれた村田先生。国語の質問をするとの的確に教えてくれる奈央先生。interesting な授業をしてくれる西岡先生。テスト前になると毎回質問に答えてくれる末松先生。おもしろい話をしてくれる都築先生。分からないところを丁寧にわかりやすく教えてくれる藪田先生。豆知識を話してくれる牛田先生。こんな先生方がいらしゃったから、私もオネストで良かったと思えたのだと思います！最後に先生方、本当にありがとうございました！！

四日市西高校 普通 K・Aさん

私は中学 1 年生の夏からオネストに入りました。初めての中間テストで最悪な点数をとってしまい、やばいと思って入りました。最初、体験でオネストへ行ったとき授業が終わる遅さにびっくりしました。ウトウトしながら体験授業を受けて、覚えていたのは授業のわかりやすさと先生たちの面白さだけでした(笑)。私は数学が大の苦手だったので、入ってから初めての模試の数学の点数はほぼ最下位に近いほど悪かったです。でも！オネストでコツコツがんばった結果、3 年のテストで 90 点とれました！！あの時の嬉しさは絶対忘れません！私が数学を得意になったのは村田先生のおかげです。英語はもともと好きな科目だったので、好成绩をキープできました。英語はいつも面白くて最高でした！でも 1 年の時の代名詞のテストは今でも忘れません。めっちゃ怖かった。一人ずつ立って、ランダムにあてられて！間違ったらめっちゃおこられて！あの時の緊張感はやばかったです。あと be interested in と How many 複数名詞も絶対忘れません！楽しく覚えられました。理科と社会は 1 年の時から、ちゃんとやっておけばよかったと本当に後悔しました。直前まで基礎もわかっていなくて、ホントにホントにあせりました。なので、これから受験生になる人は、分からないことから絶対逃げだしたらだめだと思います。ホント後で後悔します！！私が四西に合格できたのはオネストのおかげです。最後の最後までありがとうございました。先生達みんな大好き！！

四日市西高校 普通 U・Kさん

私は小 6 の 9 月にオネストに入りました。小 6 の時は下から 2, 3 番目ぐらいでした。中 1 は S1 にずっといたような気がします。中 2 は勉強が大嫌いになり、塾を休んだり宿題はしなかったりして、成績はすごく落ちて S2 や S1 を行き来してました。中 3 になってもやる気は出ず、夏期講習で S2 に落ちて、これではやばいと思い死ぬほど勉強しました。得意だった数学も落ち続けたので、夏期講習はほぼ毎日居残りして質問していました。その結果 S1 に残ることができて、最後まで S1 をキープすることができました。英語は苦手すぎてあまり勉強していませんでしたが、冬期講習に出された課題をすべてし、毎日行われるテストの勉強をがんばってするとビックリするくらい点数が伸びました。本当に英語はやればやるほど点数が上がってうれしかったです。本当に長い間お世話になりました。オネスト大好きです。

四日市西高校 普通 S・Rさん

私がオネストで学んだことは宿題をきちんとすることの大切さです。中学 3 年生の夏期講習の頑張りが変わると言われていたにもかかわらず、私はまだ部活が続いていたため、部活を理由に宿題をしていなかったりしている時がありました。だから、夏期講習後の模試で点数も下がり、席もぐんと落ちてしまいました。これではだめだと思い、宿題も授業も頑張りました。そうしたら、冬期講習の席も上がり、点数も徐々に上がっていきました。このように宿題をきちんとすることはとても大事なことなのだと思ネストを卒業してから思いました。私はオネストのおかげで県立に合格することができたと思っています。合格発表の時、牛田先生と一緒に喜んでくれてとてもうれしかったです。本当に約 2 年間お世話になりました。そして、オネストに通って本当に良かったと思いました。

亀山高校 システムメディア I・Kくん

僕は 1 年生の 12 月の冬期講習からオネストに通いだし、もともと成績が悪かった僕は「この塾に入っても変わらないだろう」と思っていたのですが、学年末テストでいつも自分がとっている順位よりかなり上がっていたので「この塾すごいな」と思いました。そして 2 年生、部活動が忙しくテストでもあまりいい順位がとれませんでした。そして 3 年生、受験生ということもあり、勉強がとても大変でしたが塾の先生の熱心な指導のおかげで、テストも 1 年生と 2 年生の順位と比べものにならないくらいあがりました。私立の受験では私立の過去問をといたり、宿題がいっぱいできて、とても大変でしたが、無事私立の高校に合格できました。しかし、県立高校の受験が私立高校のときよりすごく大変でした。僕が行く亀山高校は面接が重要なので、先生方に何度も練習をさせてもらった結果、面接が上手にいき、自分のことをアピールすることができ、合格することができたので、先生たちには感謝の気持ちしかありません。後輩に対するメッセージは、冬期講習や私立高校受験前はファイルからはみだすほどのプリントがあるので、すこいれるのが面倒だし、リュックなどの入れ物が汚くなるので、そこところは注意してください。

亀山高校 普通 F・Mくん

私は中学 3 年の春からオネストに入塾しました。私は中学 2 年生のころに前に通っていた塾をやめ、家でも勉強しなかったので満足のいく点数がとれていませんでした。自分で危機を感じて入塾しました。入塾してから数学の点数が悪かったので、ピヨ会にいたり、他の教科の補講にも行きました。その結果 2 年生のころ全然高い点数を取れていませんでしたが、それなりにいい点数を取ることができました。1 年間という短い時間で成長できたのは、先生方のおかげです。ありがとうございました。朝から夜遅くまで仕事をして、生徒たちに教えてくださって感謝です。尊敬します！他にも、入塾したてのころはあまり塾になじめていませんでしたが、周りの人に仲良くしてもらったり、本当にオネストに入塾してよかったと思っています。めんどくさくて行きたくなかったり、夏期講習・冬期講習、特に夏期講習のときはまだ、部活をしていた関係もあってやめたいと思った時もありました。ですが、今では色々な事がありましたがおネストでよかったと思います。県立の前期の前には面接の練習をしてくれたり、丁寧に細かいところまでしてくれたので、私が入りたかった高校に前期で内定をもらうことができました。中学 2 年生のころは高校に行けるか心配でしたが、オネストで勉強をして立派な中学生になれたと思います。今、どんな高校に行きたいとか考えている人（1 年生、2 年生）は今のうちにしっかりオネストで勉強してください。オネストの先生方が言ったことを信じてしっかりして自分の行きたい高校に向けて勉強をしていけばいい結果になると思います。がんばってください！！1 年間という短い時間でしたが、オネストという塾に出会えて本当によかったと思っています。ありがとうございました。

亀山高校 普通 O・Sくん

ぼくは前の塾で 1 年間くらい勉強していましたが、数学がぜんぜんできなくて、正直とてもつまらなかったです。あのときは自分は高校に入れるのだろうかとても不安でした。ですがオネストに入って、数学がそこそこできるようになり解いていて楽しかったです。自信もつきもっと勉強しようという気持ちになりました。オネストの先生はたまに雑談をしてくれて、とても勉強する時間は長かったけど飽きずに楽しく勉強することができました。ぼくはこの塾に来ていなかったら、勉強頑張ろうという気にもならず、高校に入れなかったと思います。とても感謝しています。オネスト最高！！

鈴鹿工業高等専門学校 機械 Y・Kくん

僕は小学 5 年生から 5 年間オネストにいました。正直中学校よりも長くあったからオネストがない今は違和感を感じないです。僕が得意な教科は数学と理科です。数学も理科もオネストでやっていたから今出来るようになってるんだと思います。本当に入って良かったです。3 年の講習ではすごい量のプリントや宿題が出るけど、本当に大変です。でもちゃんとやると成績が伸びている気がしました。僕はオネストに頼りっきりで、宿題以外勉強してこなかったけど合格できたので小学校からオネストにいて良かったと思いました。本当に 5 年間ありがとうございました。僕の原点はオネストです。

鈴鹿工業高等専門学校 機械 O・Tくん

僕は中学 3 年の 1 年間オネストでお世話になりました。中学 2 年生までの僕は成績が伸びず、学校内で平均くらいでした。オネストに入ってから、偏差値も順調に上がり 60 くらいで安定するようになりました。また、学校でも提出物を出すようになって内申点も上がりました。僕をここまで伸ばしてくれたのは面談をしてくれた西岡先生のお蔭です。僕も参加した三者面談で志望校を話し合いました。入塾当時は津西だった志望校が、最終的に津と鈴鹿高専になっていました。それまでの間に、鈴鹿の 6 年制に合格して「津にいけるんちゃう」と西岡先生に言われて、「行けるかも」って思っていました。その面談では、高専 50%、津も 50%と言われていました。結果、高専に受かり、津を受けるか迷いました。そこで、もう一度話し合う機会を頂いて、「津も受けたら受かるよ」と言ってもらえました。丸一日悩んで、決めました。僕の中での受験はとても楽しかったです。なぜなら、受かりたい場所の全てに受かって、どこに行くか選べる受験ができたからです。ここからアドバイス(笑)1 月になってからは、過程より結果！これホント大事、後々、西岡先生から聞くかも。それにオネストには競い合うことができる仲間がたくさんいます。互いに刺激して勉強することでいい結果を出せるはず。まとめると、オネストが最高って事です。1 年間、有難うございました。

鈴鹿工業高等専門学校 機械 T・Hくん

自分がオネストに入塾したのは 2 年生のおわりごろでした。中 1 になる時から親にすすめられていたのですが、宿題があるのが嫌だったのと、進学塾というのが嫌でした。しかし、いざ体験に行ってみれば、自分のもっていたイメージが覆され、むしろ、オネストに行くことが毎日楽しみになっていました。しかし、入ったあとはなぜこんなに勉強しなくてはならないのかと思うことも多々ありました。夏休みには体が拒否反応を起こして、ジマシンがでたこともありましたが、そうやって努力したおかげで入試当日、テストが始まる前に、笑顔でうけることができ、いつもと同じ力を出すことができたのだと思います。私立の受験で失敗した時、相談にのってくれたりなどこんなにおもしろくて、生徒のことを考えてくれる塾は他にはないと思います。一年間ありがとうございました。オネスト大好きです。追伸 オネスト生のみなさん、3 年の 11 月にはスマホをかくしてもらいましょう。そうしないと大変な思いをすることになります。

鈴鹿工業高等専門学校 材料工学 O・Kさん

私は小学校 6 年生の中学準備講座からオネストに入塾しました。オネストの模試の点数順にクラスと席が決める制度が負けず嫌いでプライドが高い私にはピッタリで、いい刺激になっていました。私は中 1～中 2 までは Z にいましたが、中 2 の最後に T に落ちてしまいました。最初は、そこまでは重大に考えていなくて、また Z に上がれると思っていました。でも、中 3 の夏、周りが勉強するようになって、クラスを上げるのが難しくなって行って、だんだん焦り始めました。そんな時、英検、漢検と落ちてしまい、オネストでのクラスも T2 になり、学校のテストでもいい結果を残せなくなってしまいました。本格的に受験勉強が始まって、一番不安な時にドン底に落ちてしまいました。なんか、何もかもうまくいなくなって何の勉強したらいいんかとか、これからどうしたらこの状況から脱出できるんか、とか何をどうしたらいいのかわからなくなってすごく辛かったです。そんな時、そんな自分の様子に西岡先生が気づいてくれて、話を聞いてくれました。長い時間、私と話をしてくれて、もう一度、私を「がんばろう」「やってやるぞ」と思わせてくれて、本当に感謝しています。あの時、西岡先生と話をしていなかったら、がんばりきれずにいたと思います。鈴鹿高専の推薦入試を受けると決まってから、志望動機がなかなか上手にまとまらなくて、私は色々な先生にアドバイスを聞いて回ってました。でも、先生によって考え方が違うのは当たり前で、全部のアドバイスを聞こうとしたら、自分の気持ちをうまくまとめられなくなってしまいました。そんな私を見て、また西岡先生が「お前が書きたいこと、伝えたいことを面接官に言わなあかん」「今のお前は自分がない」とズバツと言ってくれました。色んな人の意見にとらわれすぎて、自分が本当に言いたいことが分からなくなっていることに気づかせてくれました。西岡先生には沢山助けられました。村田先生は、いつどんな時も、なんだかんだ言いながら、質問に答えてくれて、夏期、冬期講習では体調が悪くても私たちのために授業をしてくれました。一度、倒れかけた時は、本当に心配になりました。それくらい熱いし、それくらい全力で私たちと向き合ってくれているんだから、私もがんばらないと！と思いました。面接練習も何回もしてくれて、面接前日に「がんばれよ」と頭をポンポン(笑)をしてくれた時は、嬉しかったです。「絶対に受かってきてやる」と思えました。まさみつつんは、私が質問に行っても「考えたら分かる」「あなたならできる」となかなか教えてくれなくてめっちゃくちゃそれが嫌でした(笑)早く知りたいのに!! 全然教えてくれやん～！ってめっちゃイライラしたのを覚えています(笑)今考えると、私のためにそうやって言ってくれたんだろうなって思います。すぐ教えてもらうんじゃないかって、自分で考えやなあかんって、ことですよな？？どの先生も私が合格したことをめっちゃくちゃ喜んでくれて、オネストで本当に良かったな!! って思いました！オネストじゃなかったら、あの先生達じゃなかったら、今の私絶対おらんだやろし、高専にも受かってなかったかもしれないと思います。夏と冬の英語は厳しかったし、メンタル面で辛いこといっぱいあったけど、オネストやったから、最後までやりきれたんだと思います!! 今までありがとうございました!! オネストの先生みんな大好きです!! 高専でもがんばります!!

鈴鹿工業高等専門学校 生物応用 I・Rさん

私は中学 1 年生の時から、オネストでお世話になりました。オネストの授業は夜遅くまであって大変だったけれど、先生達は 1 つ 1 つの授業を毎回丁寧にしてくれたので、私もがんばろうという気持ちにさせてくれました。また、面白い話も時々はさんでくれたので楽しく授業を受けることもできました。そんなオネストの中で苦労したのは冬期講習と英語の長文補講です。冬期講習では夏期講習の時よりも宿題の量が増えて大変でした。特に数学に時間をかけられるのは冬期講習が最後だと言われたのでなおさら、今まで以上に力を入れて分からない問題も解決しました。冬期講習の確認テストの時に π を書き忘れて村田先生に π を 500 回書かされたのは本当に辛かったけど、そのおかげでもう π は忘れなくなりました(笑)冬期講習に限らず、こんなにがんばって勉強に取り組めたのはオネストの先生達のおかげだと思っているし、本当に感謝しています。英語の長文補講では、1 文ずつ訳をランダムで当てられるので、すごく緊張感がありました。張り詰めた空気の中、補講を受けるので、もう行きたくないと思うこともあったけれど、この補講を乗り越えられたこそ、確実に長文の力はついたと思います。西岡先生はこの補講だけでなく、普段の授業でも丁寧に分かりやすく interesting な授業をしてくださってありがたかったです。また、私のノートは財産だと言ってほめてくださったことも本当にうれしかったです。これからも西岡先生の英語の授業ノートは大切にとっておこうと思います。私はオネストに入って最後まで自分やオネストを信じてあきらめないということを学べました。宿題や補講が多くて大変なこともあったけれど最後までオネスト生として勉強ができて本当に良かったです。オネストの先生方、本当にありがとうございました。

鈴鹿工業高等専門学校 生物応用 I・Mさん

私はオネストに 1 年生の春期講習から入りました。私はもともと勉強が好きではありませんでした。が、ただただ親が厳しかったので、小学校からそれなりの勉強をし、ある程度の成績をとっていました。しかし、オネストである全国模試では見たこともないような難しい問題がたくさんあり、私はほとんど解けず、終わってしまいました。その結果、今まで学校のテストでは見たこともないような点数が返ってきました。「さすがにヤバイ！」とその時は思いましたが、「まあ、大丈夫や。」と思ってしまい、そのままにしていました。その結果、中 1 では S1 をうろちよろし、中 2 では T をうろちよろしていました。しかし、私には 7 つ上の兄がいるのですが、兄は四日市高校を目指していたので、なぜかとつぜん中 2 の終わりくらいから、私も行きたいと思うようになり、そのためには Z に入らなければいけないと思いました。そんな単純な思いで Z を目指すようになりました。けれど、私は中 1、中 2 と「まあ、なんとかなる。」と思って過ごしてきたので、なかなか安定して Z に入ることはできませんでした。Z に入ることは私にとってスゴク大変なことでした。しかし、先生たちが丁寧に質問に答えてくれました。学校のテストの時は 11 時くらいまで残り、質問に答えてくれたまさみつつん、文法がわからなかったとき、細かくていねいに教えてくれた奈央先生、めっちゃ長い問題文でもしっかり教えてくれる藪田先生、数学、理科、社会をたくさん解説してくれた牛田先生、授業がめっちゃ楽しくて質問したらていねいに答えてくれる西岡先生、歴史のテストがあるときは 1 から教えてくれた都築先生、質問しに行くと「そんなんもわからんのか～」と言いながら優しく教えてくれる村田先生、本当に全ての先生に感謝してもきれないくらいです。特に面接練習のときには村田先生にお世話になりました。何回も何回も面接練習をしてくれ、アドバイスをたくさんもらい、とても助かりました。たぶん私はオネストでなかったら、この高校に入れなかったと思っています。この 3 年間、たくさん学ばせてもらいました！ありがとうございました。また、いつも夜遅く送迎をしてくれた両親もありがとう、オネストで良かったです。

鈴鹿工業高等専門学校 電気電子 I・Rくん

私は中学 2 年生の時まで他の塾に行っていて、オネストに通い始めたのは、冬期講習からの 1 ヶ月だけでした。それでも先生方は、僕のことをしっかり見てくれていて、高専を推薦で受かることができました。しかし、推薦で受かったせいか、2 月のぜんけんは全然ダメでした。だから、推薦で受かることはとても良いことだけど、その後大半の人が勉強を怠り、学力が下がってしまいます。オネストの後輩たちの中に推薦を受験する生徒がいるかと思いますが、合格してもあまり気を抜かず、そのまま勉強を継続することをお勧めします。また、話は変わりますが、夏期講習や冬期講習の数学や理科では難しい問題を解くかと思いますが、実は自分はそれを楽しみにしていました。しかし、難しい問題を解くためには、簡単な問題をたくさん解くことが必要です。ですが、自分は中学時代、プリント等も未完成なものも多く、あまり多くの問題をこなすことができませんでした。そのため、難しい問題への正答率は低かったです。オネストの後輩たちは、まだ入試まで長い時間があると思います。そして今、入試まででできることはオネストの先生たちを信じて、たくさん問題をこなすことです。それをしていけば、難しい問題も解けるようになります。だから、自分も高校では、ひたすら問題を解きつつ、難しい問題にも果敢に挑戦していきたいと思えます。みなさんも頑張ってください。頑張れば必ず結果はついてきます。

四日市工業高校 機械 Y・Kくん

私は小学 6 年生の 2 月からオネストに入りました。オネストに入ってからすぐに中学校に入り、中 1・中 2 の春期講習、夏期講習、冬期講習中に部活が盛んになり、配られたテキストや宿題もほとんどやらず小テストは得意な数学と理科がほぼ満点で苦手な他の教科は半分も合っていなかったのがほとんどでした。塾のテストでも数学・理科は 80 点、90 点を越えるけれど、英語は 10 点でずっと S1 にいました。中 3 になってからも部活で忙しく、春期講習も同じような感じでした。しかし、部活を引退してから夏期講習のテキストや小テストの勉強をするようになりました。冬期講習では周りのやる気につられてテキストを全部やりました。私立の受験は鈴鹿と高田を受けました。鈴鹿は探究、高田は II 類進学に受かることができよかったです。私は前期で受けました。前期は村田先生が見てくださり色々な指摘をしてもらい、面接に挑みました。私は内申が 1 足りていなくて倍率も 1.98 と約 2 分の 1 で受かるのは難しいと思っていたけれど、運がよく受かることができました。約 3 年間通っていたオネストには感謝しています。

津工業高校 機械 K・Yくん

私は中学 1 年生のときにオネストに入りました。オネストに入ったときは村田先生や西岡先生の迫力にびびっていました。私はとても数学が苦手でした。ですがピヨ会などでわからないところを教えてもらうことで数学の点数がひどくならなくてすんだのでとても感謝しています。また中間や期末テスト前のある数学の補講には絶対出ておいた方がいいと思いました。まさみつつんにはオネストが終わってから「質問ないの?」や「残ってかんでいいの?」といつも熱心に声をかけてもらい、理科をがんばって勉強をするようになりました。全国模試であまり結果を出すことができなかつたけど 1 度だけいい点をとることができたので、いつも熱心に声をかけてくださったまさみつつんに感謝しています。理科の補講とかはあまりないので、いつも出される宿題はしっかりとした方がいいと思いました。私は中 3 の夏期講習で他の人たちよりも部活を引退するのが遅かったので、あまり宿題をすることができずに周りの人たちと差ができてしまって、とてもあせりました。ですが、夏期講習が終わってからも毎日コツコツ勉強していけば、追いつくことができたので毎日努力することが大切だと思いました。3 年間オネストにとってもお世話になりました。ありがとうございました。

津工業高校 機械 K・Yくん

ぼくは、中学 3 年生の初めに入りました。夏期講習では宿題が多く、たまにさぼることがありました。さぼってはいけないと思っていても、さぼってしまう日が続きました。さぼる日が続いて、あつという間に冬に入りました。冬期講習になってこのままではまずいと思い、夏期講習のようにさぼらないように努力しました。宿題をやることでだんだんと分からなかったことがわかるようになりました。難しい問題を解けたときの達成感がすごかったです。この時から数学がとても好きになりました。この時くらいから質問もよく聞きに行くようになっていました。質問を聞きにいくたびに、問題が解けるようになり、苦手な範囲が得意になっていきました。津工業の前期は、数学と国語でした。ぼくは、漢字が苦手だったので塾でもらった漢字プロジェクトなどを家でしっかりと書いて覚えていきました。この塾に入って、勉強が前よりも楽しいと思うようになることがあり、この塾に入ってよかったなあと思いました。どの先生も優しく、おもしろく、授業がとっても楽しかったです。塾に行くのが楽しみになることもありました。補講にもできるだけ参加し、先生と津工業のことについて話すことも増えました。特に村田先生とよく話しました。授業の時はおもしろく、質問をしに行ったときも分かりやすく説明してくれました。気軽に話しかけることができ、とてもやさしかったです。本当にオネストに入って良かったと思いました。オネストに入ることができていなければ、勉強を楽しいと思うことはなかつたし、勉強しなければいけないという気持ちも持てなかつたと思います。本当に、先生方ありがとうございました。

津工業高校 機械 U・Tくん

私は中学 1 年生の春期講習から入塾したときに西岡先生のおもしろさに毎日通いたいぐらい楽しかったです。しかし、受験が刻一刻と近づくにつれ、西岡先生の指導は激アツになり、最終的には恐怖心が芽生えました。西岡先生の授業にベジータを描いてもらい元気になってください。塾長の村田先生は面接のときの熱心な指導のおかげでかむことなく面接を迎えることができました。奈央先生は毒舌で、心に刺さるほど痛く熱い指導を受けて、漢字や文法は得意分野になるほど勉強させてもらいました。都築先生はものすごく話しやすい存在で、優しいときは優しく、厳しいときは厳しく接してもらいました。末松先生は、とにかくケツがでかい。いじられキャラだったけれど、切り替えを大切に、気軽に質問に答えてくれ、話しやすい存在だと思えます。藪田先生は、数学の質問のときにわかるまで教えてくれ、厳しい指導をしてくれた先生です。牛田先生は、歴史に関してものすごく知識があり、ものすごく熱心に教えてくれました。オネストは本当に楽しい塾であり、人生の一環であり、この塾は社会へ進むための近道だと思えます。

津工業高校 電気 Y・Kくん

自分は、小学校 6 年のときにオネストに入りました。中学生になると部活に集中しすぎてオネストの宿題をやっていないことがよくありました。でも中 3 になると入試があるので夏期講習のプリントを日が変わってもやっていました。この努力のおかげで、自分の苦手教科の点数が上がったので、得意教科だけでなく、苦手教科など、特に講習のプリントはすべてやっておいた方がいいと思います。私立・県立高校の入試対策はきちりと先生方がしてくれるので、質問したい問題があれば先生に質問したりするといいです。努力をきちんとすれば自分の進学したい高校に合格できると信じ、頑張ってください。

四日市商業高校 商業 M・Rさん

私はオネストに 6 年生から入りました。ですが、全然成績が上がりませんでした。中学校に入ってから部活動があり、勉強と部活動の両立が上手くできませんでした。何回もオネストをやめたいと思ったときがありましたが、先生たちの支えや熱心に指導して下さったおかげで第一志望に受かることができました。本当にありがとうございました。今年、受験生の方は頑張ってください。

四日市商業高校 商業 K・Yさん

私は中 2 の時にオネストに入りました。初めは勉強がすごく嫌いで理解するのが遅いので周りの子たちのスピードについていけるか不安でしたが、先生方はとても優しく接して下さったり、あまりしゃべらない私に話しかけて下さったのですぐに馴染むことができました。中 3 になって、特に大変だったのは冬期講習の宿題が夏期講習のときよりもさらに多くなって時間がかかることです。寝るのがすごく遅くなり、次の日も朝 9 時からオネストに行って勉強することは自分が思っていたよりもはるかに大変だったけれど、周りの友達も頑張っているから私ももっと頑張ろうと思うことができました。私立の結果があまりよくなくて、落ち込んでいた時は先生方が進路相談をしっかりと下さったおかげで今のままではだめだと自分で思うことができ、後期に向けて諦めず勉強できて本当に良かったです。オネストに入るまでは勉強が楽しいと思ったことがなかったけど最後には楽しいと思えることができました。そしていつも熱心に教えて下さったおかげで志望校に合格出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

四日市商業高校 情報マネジメント K・Mさん

私は中 1 の冬期講習から入塾しました。初めの頃は部活もしながら楽しく授業もでき、春期、夏期、冬期講習をこなすことができました。中 3 になってからは春期、夏期、冬期講習は毎日あったし、部活もあって、講習中は眠たいし、辛かったです。志望校が決まってからは面接の文章を考えたり、面接練習でつまんだ質問の多さ、分からなかった問題を分かるまで何度も教えてくれたりし、色々手伝いをしてくれたりしました。先生たちも忙しいのに色々相談にのってくれたり、辛い中 3 の時も楽しく過ごすことができました。中 3 の授業の内容は中 1、中 2 の勉強が基礎になるのでちゃんと宿題として出されたところをやって基礎を積み上げていけば少しは楽になると思います。今までいろいろしてきた先生たちに感謝しています。ありがとうございました。

四日市商業高校 情報マネジメント S・Mさん

私は小学 6 年生の最後のほうにオネストに入りました。入ったときは新しい友達が出来たり、先生の授業がとてもおもしろくオネストに入ってよかったと思いました。中学 3 年生の夏期講習、冬期講習は勉強ばかりでとても辛かったです。友達と昼ご飯を食べに、マックに行ったり、ケンタッキーに行ったことが講習の思い出です。宿題の量もとても多かったです。毎回小テストがあることが辛かったです。特に英語と社会がやばかったです。社会は公民の範囲が学校で習っていないのに小テストで出てきてほとんどわかりませんでした。私は英語がものすごく苦手だったので講習の後、毎回残されていました。オネストに 1 度だけ自転車で行ったのですが坂を上るのが大変だったのでやめた方がいいと思いました。学校の中間テストや期末テストのときの呼び出しは行った方がいいと思います。学校の数学のテストで平均点以上をとれたのは呼び出しのおかげだと思います。あと、私が後悔しているのは 1 年生の時にしっかりと基礎を固めるべきだったということです。1 年生と 2 年生の時は授業についていけたのですが 3 年生の最後の方は数学と英語が全然わかりませんでした。数学は円周角の定理ぐらいからやばかったです。英語の英作文が書けないのは今でもやばいと思っています。あと 1 回くらいは Z クラスに入ってみたかったです。初めのうちは人数も少なかったのに Z に行くチャンスは数回あったと思います。しかし、人がどんどん増えてきて自分の席も良かったり悪かったりし、冬期講習の前の席は T1 だったのに冬期講習で S1 に。それから最後のテストでもずっと S1 でどんどん前の方へ行くという結果になりました。最後に S1 で終わってしまったことは少し残念だったし、悔しかったです。ぜんけん模試では記述の問題があり、私はそれが苦手だったので点が取れなくなりました。記述式の問題の書く練習はしっかりするべきです。英語の補講で長文を一文ずつ訳していくのは全然わからないから当てられませんかのようにいつも思っていました。あの緊張感はしんどかったです。前期の面接の練習を何回もしてもらったおかげで本番ではあまり緊張することなく、スラスラと答えることができました。補講は行くべきだなと思いました。オネストの夏期講習と冬期講習はつらいですが、私はオネストに入ってよかったと思います。

津商業高校 ビジネス M・Rさん

私は中 1 の冬からオネストに入りました。私がオネストに入ったきっかけはテストの順位が悪く、このままでは高校へ行けないと思ったことからです。オネストの先生にはオネストに入ってから今までたくさんお世話になりました。塾に行ってもなかなか成績が上がらない時など、相談にのってもらいました。中 3 の冬期講習は朝から夜まで休む暇もないくらい毎日勉強しました。そのおかげで冬期講習明けのぜんけん模試では偏差値が上がって、今までで一番勉強した時期だったと思います。初めのほうは学校が終わってからの塾で正直面倒くさいし、眠たいし、行きたくないな—と思うことが多かったです。だけど、オネストに行ったら、わからない問題を教えてくれたり、家より集中して勉強できたので続けてよかったなと思います。私立の入試ではオネストの先生が応援に来てくれて、とても緊張していたけど、安心することができて、すごく嬉しかったです。私が志望校に合格できたのはオネストの先生達のおかげです。いろんな場面でサポートしてくれて、いつでも味方でいてくれました。そんなオネストが私は大好きです。受験生の皆さん、最後まであきらめずにオネストの先生を信じて頑張ってください。

津商業高校 ビジネス R・Mさん

私は中学 1 年生の夏期講習からオネストに入りました。私は宿題を 3 年生の夏まではほとんどしていませんでした。私が本当に行きたかった高校は、津商業ではありませんでした。だけど、今まで宿題をしてこなかったから、その高校には手が届きませんでした。1 年生のころからちゃんとしておけばよかったなと心の底から後悔しました。だから、宿題はちゃんとしたほうが良いと思います。12 月？くらいからテストばかりでしんどいと思いますが、頑張ってください！オネストに行って本当に良かったです。

四日市農芸高校 園芸科学 E・Yくん

私がオネストに来たのは中学 2 年生の冬ごろでした。私は英語がとても苦手でいろいろと思い悩んでいましたが、しっかりと授業を受け、補講にもしっかりと行った結果、少しですが点数が取れるようになっていきました。このことで私が思ったのは、補講には絶対に参加したほうが良いということです。しっかりと行けば私も点数が上がったので、みなさん積極的に補講に参加してください。

四日市農芸高校 生活文化 A・Hさん

私は中 1 の春からオネストにお世話になりました。頭が悪くてオネストの授業についていけないのか心配でした。オネストは宿題が多い塾と聞いていて、家で自分で勉強することが嫌いな私はやっていたらいいのかも心配でした。中 1 の最初は部活もあり、塾もあり、塾のない日でも宿題をしなくては行けなくて、当たり前なことだけど勉強が大嫌いな私は最初から大変でした。中 1、中 2 とほとんど S2 で、年に 1、2 回 S1 に上げられるくらいでしたが、3 年生になっても S2 のままでした。志望校判定でも「A」はなかなか取れず、第一志望の高校に行けるのかという感じでした。3 年生の夏期講習と冬期講習はとてとても苦痛でした。陸上部で 11 月ぐらまで部活があった私は、夏期講習でみんなより勉強の時間が少なくなってしまうことはわかっていたけど、まだまだ受験生の自覚がなくて自分的には不完全燃焼な状態で終わってしまいました。言い訳にするわけじゃないけど、朝部活に行き、塾に行くってのが大変でした。でも、夏期講習明けのテストでは、偏差値が上がっていて、夏期講習行ってよかったなって思いました。そこから自分では全然勉強さぼった感覚はなかったけど、周りの子たちが頑張っていて、私はどんどん席が黒板に近づいていってしまいました。最終的に冬期講習のクラス分けテストで一番黒板に近い席になってしまいました。流石にやばいと思って、冬期講習を受けました。今までの講習の中で一番宿題を頑張りました。優秀な人からしたら当たり前のことかもしれませんが、いつまでも勉強が好きになれない私は、毎日大量に出された宿題をこなすのはとても苦労しました。冬期講習が始まる前にワークが配られて、村田先生にワークは終わらせるように言われて、私は冬期講習前に頑張って終わらせました。そうしておいたから、ほんの少しか講習中の宿題を減らしました。この時はワークやってよかったと心の底から思いました。ワークを終わらせていても宿題は大量にあり、毎日どの教科もテストがあり、テストがだめだったらペナルティもあり、その時は兄弟なのに私よりも頭だけはいい弟がうらやましかったです。冬期講習明けのテストでは夏よりも偏差値が低くて、まだまだ努力できていなかったんだと思いました。そこから、私立の過去問タイムやいろんな補講に行き、私立受験をしました。合格して点数開示に行きました。数学が私の中では点が取れていて、苦手だった数学が意外といけるかもと思えました。そこから私はどうしても前期で受かりたかったので、私立受験が終わった次の日から毎日必ず一つは作文を書くようにしました。面接練習のある時は毎日行きました。たくさん面接を直してもらったおかげで、前期で受かることができました。とても嬉しかったです。勉強嫌いな私を志望校まで導いてくださったオネストの先生にはとても感謝しています。今までありがとうございます。合格したら親や先生などたくさんの方々から支えてもらって合格できたんだと改めて感じました。3 年間オネストで勉強できよかったです。

四日市農芸高校 生活文化 T・Mさん

私はめっちゃ勉強が嫌いでした。オネストに入って嫌いな勉強は克服できなかったけど、オネストのおかげで苦手じゃなくなりました。3年の冬期講習のクリスマスがつぶれたのが激悲しかったです。講習は宿題が多くて本当につらかったです。でもそのおかげで3ヶタだった私も、半分以上の順位が取れました。特に英語は、19点くらいだったけれど、平均点以上とることができました。それは、オネストの先生たちが質問に熱心に答えてくれたおかげです。毎日コンビニはあきました。オネストありがとうございました。エアコンがすごい臭いから嫌でした。でもありがとうございました。

相可高校 食物調理 K・Sくん

私は中学1年生の11月ぐらいの頃にオネストに入塾しました。初めはとてもきびしく、こわい先生ばかりいると思っていましたが、授業を受けてみると、ハイテンションでとにかく声のでかい先生や、面白い話で場を明るくしてくれる先生、あとケツのでかい眼鏡をはめている先生がおり、不安がなくなりました。オネストは先生が優しく、わからないことを丁寧に教えてくれます。私は「前期で絶対に受かる。」と決めていたので必死で面接を練習しました。面接を覚えるには、絶対に面接ノートが必要なので、私は家の近くにあるダイソーでメモ帳を100円で買いました。そのメモ帳に小さな字で25ページぐらい面接の文を考えました。本番の面接は、とても緊張しました。しかし、大きな声で無理やりハキハキと声を出せば、しだいに緊張がほぐれていきました。私が、前期に合格できたのは塾の先生のおかげです。つねに小論文を見てもらった先生や、つねに面接を聞いてくれる先生もいました。本当に今までありがとうございました。

相可高校 食物調理 H・Mさん

私は小学5年生からオネストに入塾しました。入塾した頃は席も一番前で授業の内容もまったく意味がわかりませんでした。ですが、全国模試や授業をしているうちに少しずつ分かるようになりました。そして中学校入学後は学校の授業についていけるようになりました。でも、テストが近づいてくるとわからない問題を質問しまくりました。いつも優しく、分かりやすく教えてくれた藪田先生、さまざまな例を出してわかりやすく教えてくれた末松先生。私立、公立の相談にたくさんのおつくださり、助かりました。自習のとき、社会・理科を中心に教えてくれたうっしー。うっしーは金印や埴輪を見せてくれたことをとても覚えています。そして、社会の簡単な問題から、細かい問題まで詳しく教えてくれた都築先生。受験ギリギリまで小論文の添削してくれた奈央先生。今は会うことはあまりないですが理科を教えてくれた中根先生。「ソテツ君！～」の覚え方を今でも使っています。そして、オネストの中心の西岡先生と村田先生。西岡先生はおもしろく、厳しいメリハリのすごい人だと思います。授業の時に「生徒に教えることが幸せ」と言っていて、私も自分がしたい職業につきたいと思いました。そして、迎えた中学3年生の時、初めは四日市商業に行き、OLになり、安定した仕事をしたいと思っていましたが、西岡先生の言葉を聞いて、調理師になりたいという自分の夢を叶えるために相可高校を選びました。その言葉がなかったら、相可に行く決断はできなかったと思います。前期試験前に「お前ならいける」という言葉にはとても勇気づけられました。最後になりましたが村田先生。テスト期間に毎日呼び出しをされたのを覚えています。-20、-40ミスは当たり前のようにとっていたのでとても迷惑をかけたと思います。そんな私にも何時間もかけて教えてくれたので、テスト(学校)で良い点数を取ることができました。本当に嫌で嫌で仕方がありませんでしたけどね。この入塾してからの4年半つらいこともたくさんありましたが、とても楽しかったです。塾で友達もたくさん作ることができました。今では、塾で過ごした時間はかけがえのないものです。今まで本当にありがとうございました。そして、西岡先生！あと何年かかるか分かりませんが、おいしい料理を提供してみせます。必ず連絡するので来てくださいね。

鈴鹿高校 探究S T・Mさん

私が HONEST に入った時期は中 2 の春でした。前の塾では、必ず寝てしまっていて行っている意味がなかったのですが、友達の紹介でオネストに体験に行ったときは、こんなに飽きないにぎやかな塾があることを知りました。ですが理科や数学、英語などきちんと速いペースで進んでいくので、周りのとてもかしこい人たちと学ぶことができるか不安はありました。入ってみると他校の同級生の子たちがとても優しく、先生の授業も楽しいので、週 2 で通うことが楽しみでした！中 2 の頃までは席替えがあっても全然気にせず、普通に思っていました。中 3 になるといつのまにか自分、そして友達も空気が変わり、正直自分も T クラスだととても和気あいあいとしていた楽しかったのが良いかなと思っていただけではだめだと思い、Z クラスに行くことを目標に頑張ると自然と自力で学ぶようになりました。冬期講習の時は Z クラスで淡々と授業が進んでいくのでついていくのは大変でしたが、周りが半端ないので頑張って質問などをして乗り越えました。中 1 の時にはここまで勉強をするとは全く思っていなかったです。志望校を決める時は自分に目標、そして行きたい高校があり、正直もう諦めた方がいいのかなと思っただけで村田先生と何度も話をし、目標に向かって頑張ってきたからこそここまでやり抜けたのだと思います。自分は数学が大の苦手なので藪田先生に授業が終わり次第、長時間教えてもらうこともありました。ありがとうございました。これから受験を迎える皆さん、ダメだと思っても絶対にあきらめないで自分の目標に向かって努力し続けてください。HONEST の先生は必ず応援し、全力でサポートしてくれます。そしてオネストに誘ってくれた友人、一緒に戦った友達、両親、オネストの先生方にとってもとても感謝しています。HONEST ありがとう！！

鈴鹿高校 探究S S・Rくん

中 3 になって補講の量が多いかもと初めは思うし、冬休みはほとんど塾に行きっぱなしで 1 日 10 時間以上勉強し、泣きそうになりました。でも、オネストの先生方はみんな優しくとても熱く指導してくれたので、あきらめずに頑張れました。一番の思い出は冬休みでした。ファイルの重さが重く感じ、最終的に終えた後の達成感がすごくありました。

鈴鹿高校 探究S H・Yさん

私は中 3 の 10 月ごろにオネストに入りました。塾に入るのが、周りの人より遅かったので、初めは不安でしたが、友人が優しく教えてくれたので、すぐに慣れることができました。授業初日、村田先生から大量のテキストをもらい、その時はとてもワクワクしました。テキストの中で分からないところがあったら、先生が丁寧に教えてくれました。藪田先生には授業が終わった後、主に数学を教えてもらって、しつこいくらいに聞いていた私にも丁寧に教えてくれました。また、いろいろと学校の話をして爆笑しあえてとてもおもしろくて楽しかったです。村田先生には、入った時から声をかけてもらい、そのおかげではやく慣れることができました。また数学で簡単な解き方を教えてくれたり、何度も教えてくれたりしてもらって、学校での数学がとても楽に解けるようになりました。そして数学が好きになりました。さらに面接練習ではたくさんの質問をもらったので本番ではリラックスして面接ができました。西岡先生は私の受けた最初の授業でとてもパワフルな先生だったので驚きました。授業の内容はとてもわかりやすく今まで読む前から諦めていた長文を読めるようになったことはとても嬉しかったです。また高校のことについて相談にのってもらい、背中を押してもらいました。奈央先生は受験の作文をチェックしてもらい、細かく教えてもらい、本番までにしっかりと準備することができました。末松先生には理科でわからないところを教えてもらい、少しずつ理解することができました。都築先生に社会を教えてもらって嫌いだったけど少し好きになりました。牛田先生には全教科を教えてもらって勉強が好きになりました。オネストに入って勉強が好きになり、勉強をする習慣を身につけることができました。ありがとうございました。

鈴鹿高校 創造 I・Cさん

私がオネストに入塾したのは中学 1 年生の初めごろでした。勉強が得意なわけではなかったのですが学校の順位は真ん中ぐらいで可もなく不可もなくといったところでした。自分の行きたい高校に向け、点数も上がるように頑張っていました。しかし、中学 2 年生の半ばで精神的に不安定になり、一度退塾しました。勉強もせず、だらけていたので学校の先生からは「このままでは高校すら行けない」と言われました。これはまずいと思い、勉強しましたが、どうにも集中できず時間と焦りだけが募っていきました。そんな時、ふとオネストが頭をよぎりました。母や先生方と相談し、もう一度入塾させてもらい、必死に勉強しました。そのおかげで合格でき、感謝の気持ちでいっぱいになりました。迷惑もたくさんかけてきたし、毎日支えてくれた母には本当に「ありがとう」です。そして先生方の勉強だけでなく精神面でもサポートがあったからこそここまで頑張れたと感じています。私の中でオネストは原点でこれからは記憶に残る存在です。今の自分があるのは全ての方々に支えてもらったからです。そのことを忘れず、感謝し、高校でも努力します。本当にありがとうございました。

セントヨゼフ女子学園 普通 M・Aさん

私は小学 6 年生の終わりに入塾しました。中学 2 年生から四日市西高校を志望校とし、中学 3 年生の 4 月まで頑張っていました。しかし、中学 3 年生の 6 月から長期入院することになり、病院の中の学校へ通えないことも多く、勉強が遅れていく一方でした。しかし、外泊の日にオネストへ行くと私の体調に合わせてわかりやすく教えてくださったり、中 3 が書いているノートや配っているプリントを用意してくださったりと学校へ通えなくても病室でできるようにと考えてくださいました。入院中、よく親ともめていたのが「こんなにも勉強が遅れていて志望校に受かるのか？」でした。そのことを先生方に相談すると大丈夫だと言ってくださいました。そのとき私は落ちたら鈴鹿高校へ行きますと言いました。するとセントはどう？と聞かれ、正直驚きました。女子高、夏服のセーラーが真っ白なこと、英語が本当についていけるのか。一番は編入することへの不安でした。初めは渋っていましたが調べたり、オネストの説明会でセントのことを知っていくと今考えている高校よりもセントへ行きたいと思うようになりました。西岡先生も私に向いていると言ってください、今ではその言葉にとっても感謝しています。先日、セントで体験授業がありました。英語はやはりレベルが高く困っているとセントの子たちが優しく教えてくれて 4 月からの新生活が緊張から楽しみになりました。私にセントヨゼフを紹介してくださり、本当にありがとうございました。

愛知工業大学名電高校 科学技術 M・Sくん

僕は小 5 の時、オネストに入りました。最初はめちゃくちゃ頭が悪かったのですが、オネストに通っているうちに徐々に頭がよくなっていきました。中学生の時はメンバーが一気に増えていって、負けてはいけないと思い、一生懸命頑張って勉強し、先生たちもみんなのモチベーションを上げてくれてさらに学力が向上したと思います。中 3 になると今までと違い、一段と厳しくなりピリピリした状態でした。夏期講習は毎日授業があって、テスト、居残りも毎日あり、最初はきつくてやばかったけど、冬期講習はもったきついと聞いていたから必死に置いて行かれないように勉強しました。冬期講習では夏期講習のほぼ倍ぐらいの量でキツさも倍ぐらいで死にそうでした。でも講習が終わったときは受験に対する自信がだいぶついたと思いました。受験が終わった後も勉強しなければ気が済まないというほどでした。ここまで自分を変えてくれた先生方に感謝しています。いつも熱く指導してくれて勉強はもちろん人間として学ぶことができました。とても楽しかったです。5 年間ありがとうございました。これからも体調を崩さないように頑張ってください！

近畿大工業高専 総合システム工学 N・Rさん

私は中学 1 年生の春期講習からオネストに入りました。1,2 年の頃は楽しんで行っていたが、中 3 は死ぬかと思った。私は私立が第一志望だったので 1 月 19 日には合格通知が届きました。その後のみんなの・・・というより特に村田先生と西岡先生の熱気がすごかった。「ワレエエエエ！ コラアアアア！ 前期頑張りやアアアア！」みたいな熱量やった・・・。中 3 の夏期・冬期は宿題が多すぎて生活サイクルがくるっていた・・・。(冬期)朝 6:30 起床→朝ごはん他・・・→9:00 塾が始まる→12:00 ぐらいに昼食(友達と過ごせる塾の中で唯一楽しい時間)で 1 時間フリー→17:00 に塾が終わる・・・と称しているが実際には少なくとも 17:30 までには行かされる→家に帰ってご飯を食べる→夜中の 3 時ぐらいまで勉強・・・みたいなサイクル。そのうち死ぬんじゃないかなって思う。先生たちが。冬期は宿題ちゃんとやったほうがいい絶対。あと家に 1 ページもやっていない中 1・2 の iワーク、iワーク+、ウィンバスがある人は基礎だけでもやるべき。めっちゃ難しく感じる。冬期のワークが全然追いつかなくて。冬期になっても村田先生の「ゆゆちゃんノロケ」は続く。熱量そのまま。最前列の人は村田先生、西岡先生の授業の時にたまに唾がとんでくるけど皆めっちゃ静かに聞いとるで言うに言えない状態ができてあがる。ゆえにハンカチとコンパスは必須である。とりあえず、冬期でコンパスもっていかなかったら村田先生にめっちゃボロクソに言われるよ・・・絶対持って行けよ・・・(経験済み)3 年生になると数学についていけなくなる。(1,2 年生で数学が嫌いやった人)数学嫌いじゃなくても英語でつまずく。どっちは絶対やばいから予習復習しやな間に合わなくなる。あのな、まじでさぼったから。こーなる。本気で勉強した方がいい。せめて 3 年生の夏期講習には。調子乗っ取ったら S2 まで真逆さまにずどーんやからな！(経験済み)勉強はしたくなくてもするべし。とりあえず中 1 の時に 30 分でもいいから机に向かう習慣をつけたほうがいい。あと受験の 1 週間前になると机にひそむ地縛霊になる。その間はめっちゃ胃が痛い。うちはバナナとヨーグルトっていう超おなかに気をつかったものを食べあさった。その期間に親から勉強しなさいって言われるのが 1 番ストレス。なるべく話しかけないでって先に言っといたほうがいいよ。勉強はすごいする気がなくても塾に来て楽しみを見出したほうがいい。西岡先生が 1 番面白い。その 1、授業前の無駄話が長い。その 2、ピリオドでチョークが折れる。その 3、日に日に顔色が悪くなる。(冬期限定)3 番は笑えないけど。勉強めっちゃして塾行きたくなくなっても、労働基準法の調査でも来たら 10000%の確率でひっかかるこのオネストの先生方の労働時間を思い出したらもうちょっと頑張ろうかなっていう気持ちになる。「先生方はうちらより 20 倍ぐらいはつらい」をモットーにして頑張ろう。本当につらかったんやろうな。M 田先生はフラフラして顔青かった時があった。先生、頑張りすぎないでください・・・。あれ軽くトラウマですからね。私の中で 10 数番目に入るトラウマです。N 岡先生、ピリオドでチョークを無駄にしないでください。面白い話はちょっと長すぎる時があるので時間を気にしてほしいです。奈央先生、めっちゃ字がきれいですよね！習字何段なんですか？S 松先生、ノートに書くと字がきれいなのに何で黒板に書くとエジプトの古代文字みたいになるんですか・・・T づき先生、授業中にいきなりアンパンマンやプリキュアの話をしてください。T づき先生は接しやすかったです。多分オネストの先生の中で 1 番変人(私調べ)だからですか・・・？最後に新中 1、新中 2、新中 3 の人たちへ・・・夏期・冬期では私たちが勉強できるように沢山の工夫を先生方はしてくださっています。やる気がないのはほぼ全員です。とりあえず、勉強しましょう。体を崩さないかぎりのできるだけ、色々頑張り！！

津高校 普通科 (N・Yくん 白子中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

高校入試が終わったときは「やっと終わった」と思いました。入試が終わってから合格発表までの1週間は、最初の2~3日は風邪をひいていたので特に意識はしなくてすみましたが、発表の前日などになると自分が受かっているかが不安になり緊張しました。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

受験勉強で辛かったことは学校や家での周りからの「受験生だから勉強しろ」という感じの雰囲気です。自分は勉強が好きではなく、むしろ嫌いなほうなので、嫌なことを強制する感じがとても辛かったです。特に、受験直前になるとそれが強くなるので一段と辛かったです。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

自分は友だちに四日市高校を受験した子がいて、その子がすごい勉強をしていて、それを見ると「自分も勉強しなくては」と思えてモチベーションを保つことができたのでとても感謝しています。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

進学校に進学したので勉強をがんばりたいです。しかし、部活動もしたいと考えているので、たいへんだと思いますが、がんばっていきたいです。また、将来の目標としては、せっかく進学実績の良い高校に進んだので大学に進学したいと思っています。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

どんなに勉強が嫌いでも学校の提出物と出された宿題はしっかりとしておくべきです。また、どの高校を受けるかを決めるときは、その高校に合格できるかどうか以外にも、その高校に入ったあとに、その高校で楽しい学校生活をおくることができるかどうかまで考えて決めると良いと思います。

～津高校に合格したN・Yくんはこんな子でした～

中1からオネストに通ってくれた彼ですが、ずっと校舎内ではトップレベルの点数を取り続けていました。確かに「勉強が好き」という雰囲気はあまり感じられませんでした。彼はオネストの宿題は必ず期日までに終わらせることは継続してくれました。受験生になっても何も特別なことはしていませんでした。「当たり前のことを当たり前になす」という簡単なようで難しいことを3年間続けた結果が津高校の合格に結びついたのではないのでしょうか。彼の取り組みは後輩たちにも伝えていきたいと思っています。

津西高校 国際科学科 (O・Hさん 鼓ヶ浦中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

前期試験が終わったときは、もう二度と試験を受けたくないと思いました。面接があって、その待ち時間が長かったこともありましたが、もうこんな大変な思いはしたくないと思いました。志望校合格だとわかったときは嬉しさよりも驚きが大きかったです。まさか受かるとは思っていなくて、後期試験に向けて気持ちも切りかえていたので、とても驚きました。そして嬉しさと同時に不安もだんだん出てきました。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

受験勉強で辛かった時期は、ダンスやピアノを続けながら私立の試験がせまっていたときです。私は塾の他にダンスとピアノを習い事としていて勉強もしながら他の事との両立もしなければならなかったのです。さらに私立の試験が近づいていたときは焦りもあって辛かったです。受験勉強を通して学んだことは、「負けたくない気持ち」です。あの子には負けたくないと思う気持ちから、もっと勉強しようと思うきっかけになりました。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

今まで支えてくれた親には、いつも送迎してくれてありがとうございますと伝えたいです。仕事もあるのにぬけて送ってくれたり、毎日自習に来ていた時期は毎日送迎してくれて本当にありがたかったです。ともに高校受験を乗り越えた友人へは、今までわからないところは教え合ったり、一緒に自習室で勉強したり、自分の面接練習につきあってもらったり、内定が決まったときには自分のことのように喜んでくれたり、がんばろうって思えたのもみんながいたからでした。ありがとう。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

高校生になってがんばりたいことは、部活動と勉強との両立です。私が津西高校を選んだ最大の理由は、津西高校の西ダンに入りたかったからです。でも、進学校だから、したい部活もしながら勉強も周りにおくれをとらないように精一杯努力していきたいです。前期選抜の面接では、将来は外資系企業に就職したいと言ったので、それが実現できるようにこれからの高校生活を有意義に過ごしたいです。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

必ず妥協せず、自分の行きたいと思う高校を明確にして勉強してほしいです。その高校を選んだからには他の高校にない自分の感じた魅力があって、その高校に行きたいと思う気持ちが強ければ強いたくだけ受験勉強もがんばれると思います。そして、受験で大切なことは積み重ねだと思いました。だから、1年生から内申点は重要になってくるし、教科で言えば社会も1年生の内容や2年生の内容をサボっていると大変だと思います。今している勉強は全てあとで自分にとってプラスになって返ってくるので、あきらめずにがんばってほしいです。

～津西高校に合格したO・Hさんはこんな子でした～

彼女を一言で表すなら「努力を惜しまない子」です。中学校の定期テスト、高校入試すべてにおいて自分のできることに精一杯取り組んでいました。テスト前に英単語帳や社会のまとめノートを作成するなど、ワーク以外の取り組みにも熱心でした。また、彼女は英語がとてもよくできました。彼女の英語の問題を解くスピード、正確さのどちらにも驚かされたことも多かったです。何より、津西高校に進学したいという強い思いをもって、日々の勉強に向き合っていました。目標に向かって妥協せずに取り組む大切さを彼女からは教わった気がします。

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

前期選抜終了後は試験が終わった解放感と今までに対する後悔でいっぱいでした。学力検査は自分の思ったように問題が解けず、時間内にすべて解けませんでした。面接でも自分の言いたいことや津西高校独自の特徴などとも言えず、確実に落ちたと思いました。だから1週間後に合格内定通知が届いたときはとにかく驚きました。本当は夢を見ているのではとも思いました。うれしかったのですが実感がわからず、ほぼ通知を持ったまま固まっていた「よっしゃー！」などの言葉を出ることなく、ぼうぜんと突っ立っていました。少し時間がたつと今度はなぜ内定がもらえたのだろうと考えるようになり、その後30分くらいは混乱していました。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

受験勉強で辛かったことは、自分のやる気が出ないのに周りが気合いを入れ始めたことです。いつも同じペースで歩いていたのに急に周りが速くなって寂しくなり、焦り始めました。でも、それでも自分のやる気が出ず、なぜやる気が出ないのか真剣に考えた時期もあり、自分を嫌いになりそうでした。受験勉強から学んだことは友だちの大切さです。たぶん、今の自分の力は友だちに「教えて、教えて」と頼られ、教えることでついた力だと思うからです。それに友だちが周りでいっしょにいてくれたから、毎日自習室に通いつめることができたと思うからです。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

自分の家族や友だちにはとても感謝しています。3年生の後半からは毎日のように塾に通いました。だから、夕食も毎日のように早めにつくってもらい、大きな負担をかけました。それに塾などに多額のお金を自分のために使ってくれて、両親には感謝しきれません。友だちも毎日のように良い刺激を与えてくれました。だから、いつもいつも面倒なテストでさえ、勝負感覚で全力で取り組み、自分の力を向上させていくことができました。受験に成功できたのもみんなのおかげです。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

私は将来中学校の数学の先生になろうと思っています。そのために高校ではいろいろな経験を積みたいと思っています。だから、私は高校でいろいろなことにチャレンジすることを目標とします。文武両道、生徒会活動、学校行事などに積極的に取り組み、勉強面では周りよりも1歩先に進んで周りをサポートしていこうと思っています。また、知り合いが全くいない環境なので、自分のコミュニケーション能力を高めて、いろいろな人と関わり、自分の視野を広げていこうと思います。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

3年生になると周りのレベルがどんどん上がっていくと思います。でも、自分のレベルが上がらず焦るかもしれません。私は自分のペースで進めばいいと思います。めんどくさがるの私でも後半になったら自然と勉強できるようになり、レベルも勝手に上がっていました。だから、周りに無理してついていこうとせず、自分のペースで進んでいってください。だからと言って、全く勉強しないのはやめといたほうがいいと思います。矛盾だらけな気もするけど、伝えたいのはこれだけです。悔いの残らないようがんばれ。

～津西高校に合格したI・Aくんはこんな子でした～

彼について印象に残っているのは、友だちから勉強(特に数学)で質問をされたときに嫌な顔をすることなく丁寧に教えている姿です。人に勉強を教えるためには自分がしっかりと理解していなければいけません。また、体験記にもあるように人に教えることで自分の力をさらに伸ばしてくれました。なかなか受験に向けて本気になることができなかつたようですが、友だちから多くの刺激をもらい、同時に友だちにも良い影響を与えることのできた中学校生活だったと思います。将来、立派な数学の先生になって、多くの子どもたちに数学の楽しさやおもしろさを伝えてあげてください。

津西高校 普通科 (I・Tくん 白子中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

とにかく志望校へ合格できてとても安心しています。今まで毎日勉強をコツコツがんばってきたかがありました。この半年間、勉強だけに集中してがんばってきたので本当にうれしかったです。そして2年間支えてくれたオネストの先生方に感謝しています。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

受験勉強で辛かったことは2月の模試で津西高校の合格率が50%と言われとても不安になりました。そして前期選抜を受けた周りの友だちが合格していてとても焦りました。でも、そのおかげで残りの1か月の追いこみをとてがんばることができました。あきらめずに取り組み合格できることがわかりました。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

私をいつも支えてくれた家族には本当に感謝しています。送り迎えを忙しいときでもしてくれたことや、家で自分が集中できないときに勉強をしやすい環境をつくってくれたこと。家族が支えてくれたからこそこの結果だと思えます。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

私は高校生になったら勉強をしっかりとコツコツやりながら部活も全力でがんばりたいです。特に勉強は中学校よりも数倍難しくなると思うので、しっかりとやりたいです。そして部活も楽しんで行い、ベストをつくしてがんばりたいと思います。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

進路を決定することは誰でも迷うと思います。たとえ自分が行きたい高校が自分に届かないレベルでもコツコツと努力をすれば必ず合格できます。しかし、そこでコツコツやれる人とやれない人が合格する人と不合格になる人の違いなので、悔いの残らないようがんばってください。

～津西高校に合格したI・Tくんはこんな子でした～

津西高校合格という目標に向けて本当にコツコツと勉強を続けてくれました。夏の暑い日に部活終わりで疲れていても授業を安易に休むことなく、自宅からオネストまで自転車で通い、息を切らせながら教室に入る姿には頭が下がる思いになりました。また、私立高校の受験後から県立高校後期試験までの残り1か月の取り組みは卒業生たちの中でも最もがんばってくれた1人です。次々に課題をこなして「絶対に合格する!」という強い思いがあふれていました。これからの高校生活もあきらめない気持ちで多くのことにチャレンジしてほしいと思います。

津西高校 普通科 (I・Rくん 鼓ヶ浦中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

高校入試が終わったときは、これまでたまっていた疲れがふっ飛びました。そして、これまで我慢してきたものをできることが楽しみでした。また、友だちと遊べることも楽しみでした。志望校に合格したときはすごうれしかったです。また、この志望校で楽しい3年間を過ごしていきたいと思いました。そして、勉強と部活が両立できるようにがんばっていこうと思いました。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

受験勉強で辛かった時期は冬休みです。冬休みは、これまで経験してきたことがないほどに勉強に取り組んできました。受験勉強で辛かったことは、やりたいことができなかったことです。だけど、これを我慢したことにより勉強に集中することができました。この受験勉強を通して、勉強を継続してやっていくことは大切だと学びました。また、勉強を計画してやっていくことも大切だと受験勉強を通して学んでいきました。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

高校受験をともに乗り越えた友だち、わからないところを教えてくれてありがとう。また、支え合ったことで高校受験を乗り越えることができてよかった。お母さん、いつも塾へ送ってくれてありがとう。そして、いろんなところで支えてくれてありがとう。友だちやお母さん、お父さん、いろんな人に支えられたことで、受験勉強にしっかりと打ちこむことができて乗り越えることができたのでよかったです。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

高校生になってがんばりたいことは勉強と部活です。勉強では、おいていかれないように毎日帰ってから予習と復習をしていき、継続して勉強していこうと思っています。部活では、賞状がとれるように日々がんばっていきたいです。勉強と部活が両立できるようにがんばっていきます。将来の夢はまだ決まっていませんが、目標は人の役に立てる仕事に就けるように日々努力をしていきたいと思います。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

勉強を毎日継続していき、集中して勉強していく。またワークなどいろいろな問題を何度も解いて苦手なところをつぶしていったら得点が上がると思います。そして、得意な教科は他の教科よりも勉強時間を少し減らして、苦手な教科は他の教科よりも勉強時間を多くして苦手なところをつぶしていったらいいと思います。志望校に合格できるように受験勉強をがんばってください。

～津西高校に合格したI・Rくんはこんな子でした～

あまり口数が多いタイプではありませんでしたが、勉強に対しては本当に真摯に向き合ってくれる様子が印象に残っています。彼は理系科目が得意科目な反面、英語や国語を苦手としていました。しかし苦手科目からも決して逃げることなく努力を続けてくれていました。県立高校の入試においても国語・英語ともに高得点をとってきてくれたことは本当に嬉しく思います。

川越高校 普通科 (N・Rくん 千代崎中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

僕は川越の国際文理科を志望しました。前期試験では落ちてしまって、しばらくはメンタルがやられていました。けど、このままじゃいけないと思ったので、英語以外の教科をがんばりました。過去問などをいっぱいして40点以上とれるようにがんばりました。どうしても国際文理科に行きたかったけど、普通科になってしまいました。だから合格発表の日に自分の番号を見つけてもあまりうれしくなかったです。その日はなかなか元気が出なかったです。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

受験勉強で辛かったことは、点数が上がりませんでした。模試でもなかなか高得点がとれなくて、志望校の合格率が低いままでした。また、結果の波もあって、なかなか結果が安定しなかったです。一番辛かったのは、自分から勉強することができなかったことです。1月より前は家ではほとんど毎日勉強していなくて、1月の後もたまにしない日がありました。自分で自分を甘やかして、その日が終わりそうになったときに後悔することが多かったです。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

今まで支えてくれた親には感謝以上の気持ちがあります。勉強のスタートが遅かった僕を起こしてくれたり、わからない問題は夜遅くまで一緒に考えてくれました。ダメなものはダメとはっきりと言って叱ってくれました。学校や塾にいる友達とも一緒に勝負したり、勉強しあったりして、そこからいろんなことを学ぶことができたと思います。とても感謝しています。特に塾では、かしこい子が多くて負けるのは嫌だったので、がんばろうと思えることができました。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

高校生になってがんばりたいことは、英語を今よりももっと伸ばして川越高校の1年生で、最初でそして唯一の英検1級保持者になりたいです。1級に受かって終わりではなく、まだこれからも英語を伸ばして、自分のなりたいものが見つかるように努力していきたいです。もちろん英語だけでなく、他の教科もサッカーもがんばっていきたいです。まとめると、1つのことだけでなく、複数のことにどんどんチャレンジしていきたいです。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

受験は確かに辛いことも多いし、イライラしてくることもあるけれど、僕は、受験は思い出になると考えています。一生懸命悔いのないようにすることで、「あの時は大変だったな」とかとてもなつかしく思い出します。それを思い出すことが楽しみに変わるのではないかと思います。結果は努力と共についてきます。必ず。言いきれない理由は自分がそうだったからです。どれだけどん底にいても、最後の最後に成長することができました。まじめにすることはカッコ悪いことじゃありません。がんばってください。

～川越高校に合格したN・Rくんはこんな子でした～

彼の最大の強みは何と言っても抜群の英語力です。なんと中学生の時点で英検準1級保持者でした。これから学ぶことになる高校英語も軽く乗り越えてくれることでしょう。彼のように絶対的な得意科目があると、他の科目の勉強に費やせる時間も増えます。前期試験では辛い思いを経験しましたが、最後の後期試験までは毎日のように(受験後も)オネストに通って勉強していた彼の一生懸命な姿は忘れません。英検1級合格目指してがんばれ!

神戸高校 理数科 (O・Yくん 千代崎中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

僕が高校入試が終わったときに最初に思ったのは「やっと入試が終わった」ということでした。それまであまり友だちと遊ぶこともできなくて大変だったけど、でもこうやって思えたのは入試まで一生懸命がんばったからこそこう思えたんだと思います。合格したときはあまり合格した実感もなく、一緒に受験した友だちは理数科からスライドしてしまって複雑な気持ちでした。だけど、家に帰ってよく考えると友だちの中で理数科に合格したのは僕だけだったので、みんなの分もがんばろうと思いました。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

僕が受験勉強を通して学んだことは努力することはとても大切だということです。僕は3年生の最初のころは今よりも勉強ができなくて、学校の先生にも神戸高校の理数科は厳しいと言われていましたが、受験勉強をがんばったことで少しずつ実力がついてきて、こうして理数科に合格することができました。だから、これからももっと努力していきたいです。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

僕が今まで支えてくれた親に思うことはとりあえずありがとうということです。3年生になってからずっと勉強しろって言ってきたり、ゲームを没収してきたりして何回もけんかになったけど、そうしてくれたおかげで勉強する時間が増えて、そのおかげで成績も上がって、合格発表のときも一番喜んでくれたので、しっかりとその気持ちを伝えたいです。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

僕の将来の夢は中学校の理科の教師になって、勉強の苦手な人の力になれる教師になることです。僕は1年生のころ今よりもずっと成績が悪く、テストでも良い点数をとることができませんでした。だけど、3年間友だちと競い合ったり、先生たちに支えてもらったりしてここまで成績を上げることができました。だから、僕も勉強が苦手な人の気持ちがわかります。自分も勉強が苦手な人の気持ちを受け止めて、その人の支えや力になれる先生になる。それが僕の夢です。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

僕が後輩に伝えたいことは努力することが大切だということです。僕は1年生のころは今よりもずっと成績が悪くて勉強がすごく苦手でした。だけど、3年間ずっとがんばり続けたことで大きく成績が上がりました。だから、がんばることで、今成績が伸び悩んでいる人でも大きく成績が上がると思うし、良い順位をとっている人でも努力は無駄にはならないと思います。いろんなことに努力して取り組んだ方がいいと思います。

～神戸高校に合格したO・Yくんはこんな子でした～

「勉強はオネストです」ということが彼のスタイルでした。入塾以来、年間授業のない日でもほぼ毎日のようにオネストに通って宿題や自習をしていました。時には勉強を忘れて友だちと遊びたい気持ちを抑えることもあったはずですが、彼はやり遂げました。高倍率の神戸高校の理数科を合格することは簡単ではありません。自分のできることをコツコツと投げ出さずに継続した結果が合格につながりました。本当に誇りに思います。

神戸高校 普通科 (K・Yさん 千代崎中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

受験後は解放感と嬉しさでいっぱいでした。受験を終えたときは自信のない教科もありましたが、伊藤先生に言われた通り「やり切った！」と思うことができたのでよかったですと思います。合格発表のときに自分の番号があったときは嬉しかったし、がんばってきてよかったですと思いました。オネストでたくさん成長させてくれた伊藤先生や中根先生にはとても感謝しています。特に、伊藤先生には夜遅くまで勉強を教えてもらったり、理解できるまでずっと教えてくれて感謝しかないです。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

受験勉強で辛かったことは、模試の点数が全然取れなかったことです。得意教科で点数が取れなかったり、点数が安定しない教科もあって不安な日々が続きました。最終的に志望校を変えることになって本当に辛かったし、後悔でいっぱいでした。1月、2月の模試は点数が全然よくなって、周りの友だちは点数が上がっていても自分だけ上がらなかったのが辛かったです。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

受験のために体調に気をつけてくれたり、進路について一緒に考えてくれてとても感謝しています。志望校が全然決まらなくて悩んでいたときにオープンスクールに一緒に行ってくれたり、模試の点数が悪かったときもいつも励ましてくれて本当に嬉しかったです。わからないところを教えてもらったりとたくさん迷惑をかけたと思います。家族や友人には感謝しきれないほど感謝しています。支えてくれてありがとうございました。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

高校生になってがんばりたいことは、部活と勉強を両立させることです。中学校に比べて、授業のスピードが速くなり、課題が増えるなど大変なことも多いと思いますが、有意義な3年間にしていきたいです。今までできていなかった予習、復習のサイクルを身につけていき、効率よく勉強していこうと思います。そして、中根先生に言われていたようにネガティブ発言を減らして、前を向いていこうと思います(笑)

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

1年間は本当にあつという間です。だから、今できることを全力でしてください。そして受験の日に自信をもって後悔しないように挑んでください。それまでに、辛いことや不安なこともあると思うけど、伊藤先生や中根先生を信じてがんばってください。2人の先生は自分が理解するまで熱心に教えてくれるし、アドバイスをたくさんしてくれます。最後まであきらめないうで志望校を目指してがんばってください。応援しています。

～神戸高校に合格したK・Yさんはこんな子でした～

オネストで勉強や自習に取り組んだ日数においては、今年の卒業生だけでなく過去の卒業生たちとも比べても歴代第1位です。中1のときから授業日以外も毎日オネストに通っていました。彼女の最も良いところは苦手な理系科目からも逃げずに疑問点は必ず質問するところです。時間がかかってもひとつひとつ理解するまで勉強を続けることで着実に実力を上げてくれました。まさに「継続は力なり」を証明してくれた中学校生活だったのではないのでしょうか。

神戸高校 普通科 (S・Mさん 鼓ヶ浦中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

「何か月も勉強するのはもういやだ。一生受験勉強はしたくない。」と思いましたが。ただ合格発表の日、自分の受験番号を見つけたときはすごくうれしくて、心が折れそうなくらいのオネストの大量の課題を最後までやってよかったなと思えました。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

私は後期試験前の2週間がとにかく辛くて、もっと勉強しなくてはいけないとわかっていたけれど、2階に行って寝たり、本を読んだりして勉強せずにベッドでゴロゴロしていました。でも、受験前日の夜まで一生懸命、勉強したことで最後まであきらめないことの大切さを学ぶことができたので良かったです。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

お母さんは毎日、仕事で忙しいのに陸上や塾の送り迎えをしてくれて感謝しています。お母さんとは進路のことでたくさんもめて、言い合いもたくさんしたけど最後まで応援してくれてうれしかったです。私がすごく仲の良いHさんは前期試験で受かっていたけど、私の受験が終わるまで自習室で一緒に勉強してくれたり、教えてくれたり、たくさん励ましてくれて感謝しています。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

高校生になったら勉強と陸上の両立ができるようにしたいです。陸上ではインターハイやU18 日本選手権、三重国体に出場して活躍し、今まで支えてくれた人たちに恩返しをしたいです。将来は、看護師になりたいので看護系の大学に進学したいです。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

受験前に模試を受けて合格点にまったく届いていなくて焦る子が出てくると思うけど、2月の1か月を本気でがんばれば結果は大きく変わってくると思っています。実際に私は3年生で、オネストで受けたテストはすべてB判定だったし、2月のぜんけん模試も先生に「このくらいの点数はとった方がいい」と言われていた点数に届いていなかったけど、2月にすごく勉強して当日の点数はボーダーを大きくこえることができました。だから受験前の1か月の時間を大切に過ごしてください。

～神戸高校に合格したS・Mさんはこんな子でした～

中学校生活では陸上競技に力を入れていて勉強との両立が難しかった彼女ですが、体験記にもあるように最後の1か月、特に私立高校の受験後からは目の色を変えて勉強に取り組んでくれました。毎日のようにオネストで多くの問題を解き、ノートをまとめていました。また、1年生のときから理科が苦手とっていましたが、最後の後期試験では苦手な理科でも7割をこえる点数をとってくれたことは本当に嬉しく思います。

神戸高校 普通科 (R・Aさん 鼓ヶ浦中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

高校入試が終わったとき、やっとバレーボールができる、毎日勉強しなくてよくなるという解放感を感じていました。その反面で合格しているのかなという不安もありました。私は、入試当日体調がよくありませんでした。そのため、あまりテストに集中できませんでした。この経験から体調管理はとても大切だと思いました。志望校合格の瞬間のとき、半年間必死でがんばってよかったと思いました。合格したことを母に一番に伝えたくくなりました。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

受験勉強で辛かった時期は中学校を卒業してから入試までの3日間です。今まで一緒に受験勉強をしてきた友だちと話せなくて気分転換ができなくなり、また、あと3日何をしていいのかわからなくなりました。辛かったことは運動やバレーボールができなかったことです。受験勉強を通して学んだことは、毎日コツコツと勉強することが大切だと思いました。中3で中1、中2の勉強を特に数学と英語は1からしていたので、受験勉強が大変でした。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

今まで支えてくれた親へは塾がある日にいつも送り迎えしてくれてありがとうという気持ちです。それと、私は兄のようにコツコツ勉強せず、1、2年生の内容が受験生になってもあまりわかっていなくて、合格発表の日までずっと心配かけてごめんなさいという気持ちです。ともに高校受験を乗り越えた友人へは、私は家や塾では勉強ばかりで息づまっているときは話してくれたりして、勉強のことを忘れさせてくれてありがとうという気持ちです。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

高校生になってがんばりたいことは部活動です。私は小5から始めたバレーボールを高校でも続けていこうと思っています。また、部活動だけでなく勉強面でも授業についていけるようにがんばりたいです。私の将来の夢は体育の先生になることです。私の部活の顧問の先生や3年生のときの担任の先生が体育の先生でとても楽しそうだったからなりたいたと思いました。私の将来の目標は全世界の国々を訪れることです。無理だと友だちにも言われますが、私が死ぬまでに成し遂げたいです。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

私は中学2年生のとき担任の先生から「今から受験勉強した方がいいよ」と7月に言われました。でも、そのときの私は中学3年生からでも間に合うと思っていました。ですが、私は中学3年生になってもあまり勉強せず、部活動ばかりしていました。私がしっかりと勉強を始めたのは部活を引退した9月からです。9月からだと夏休みがんばった子と差がついていることを知りました。私はこの経験から最低でも受験勉強は3年生の4月からしたほうがよいと思いました。また、1月までには苦手なところを少しでも減らせるように勉強した方がよいと思いました。

～神戸高校に合格したR・Aさんはこんな子でした～

彼女は中学3年生の夏休みまでは部活動を何よりも優先させる生活を送っていたようです。そのために3年生の夏休み以降は、日々の勉強に加え、1・2年生の学習内容をやり直すなど負担も大きかったと思いますが、神戸高校に進学するという大きな目標をもって努力を続けていました。今までの遅れを取り戻すために、必死でオネストの勉強についてきてくれた努力家の彼女。次の大学受験では焦らないように高1からしっかりと勉強についていてください。

神戸高校 普通科 (T・Mくん 白子中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

入試が終わったときはやり切った感がすごくありました。今までたくさん宿題とか模試とかをしてきて、それを全て出し切った日で「少しゆっくりできるなー」って思いました(笑)。合格したとわかったときには、とても安心してとてもうれしかったです。オネストに入ったときから「神戸高校に行きたい」って言って、それを実現できた達成感がありました。それと同時に「これからやな」ってということも思いました。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

自分は12月まで部活動をしていて、その両立をしていたのですが、塾の宿題や学校の提出物をしなければならないし、部活動もしなければならないという生活があり、なかなか寝る時間が確保できませんでした。その状態で部活動や学校へ行くことが辛かったです。この受験勉強から、少しずつの積み重ねが結果につながっていくことがわかり、日々の積み重ねの大切さを学びました。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

両親には部活動の面、勉強の面、家での生活の面でも全てで支えてもらっていたので、本当に感謝しています。特に先ほども書きましたが、部活と勉強の両立の期間が他の人より長かったので、もちろん自分も大変でしたが、それ以上に両親も大変だったと思います。だから、他の人よりもいろいろ大変なことが多い中でずっと支えてもらった両親のおかげで合格できたと思います。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

高校生になっても大学進学を目指して勉強をしっかりと続けていくことと、部活動でも良い成績を収めることができるようにすること、この2つを特にがんばっていきたいと思います。これをしっかりと結果を残すことが支えてくれる人への恩返しとなるので、それができるように自分なりに精一杯がんばっていきたいと思います。テストでも良い点数、良い順位がとれたらいいなと思います。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

入試までにはたくさんの宿題や、それ以外のやるべきことがいろいろあると思います。でも、努力をすれば合格することができます。模試で点数がとれなくてダメだ思うのではなく、大切なのはその後どうするかだと思います。自分のできないところをしっかりとやるのが大切です。まだみんなには時間があると思うので、時間のあるときにできることをして合格を目指してください！

～神戸高校に合格したT・Mくんはこんな子でした～

中学3年生の12月まで部活動が続いていた彼ですが、部活動を勉強ができない言い訳にすることを決してしない子でした。自分が好きで選んだ部活動だからこそ全力で取り組み、同時に神戸高校を合格するために日々の勉強も疎かにしない彼のスタイルはとても素晴らしかったと思います。さらに彼は社会が得意科目で県立高校の入試の社会では満点近い点数をとってくれました。これからの活躍も期待しています。

神戸高校 普通科 (M・Sくん 白子中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

試験を受けに行くというプレッシャーは、入試が終わった瞬間、解き放たれると思ったけど、それはぜんぜん違って、さらに追い打ちをかけられた。それは合格発表だった。自分の受験番号を目にしたとき、うれしさと後悔がまざった気持ちだった。なぜなら自分が志望したコースではなかったからだ。後悔を感じたぶん、高校生活に新たな決意が持てた。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

「まあいいか。」「大丈夫、大丈夫。」「後で。」「めんどくさい。」が自分の口癖で、自分の性格で、自分の意志でそれが大凶と出てしまった。自分の行きたかった志望校には行けず、第2志望は不合格になってしまった。そのときから、始めた本格的な受験勉強。でも、それはもう遅かったと後悔した。受験勉強を通して学んだことは、めんどくさくてもコツコツやること、あきらめないこと、それがとても大事だと思った。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

自分が目指していた高校にも行けず、さらに不合格という結果を両親に味あわせてしまった。それが自分にとって最大の後悔だった。志望校を変えても、何も言わず、応援してくれたことに感謝し、高校ではこのときのような結果を出さないように、しっかりと意志を持ってがんばりたいと思った。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

高校生でがんばりたいことはというと、だいたいは勉強と部活の両立をがんばりたいというけれど、自分は今はまだ何になりたいのか、何をしたいのか定まっていないため、高校生活の1日1日を大切に、まずは大学進学という目標をおき、3年かけて将来のことを探し、大学受験したいと思った。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

自分の経験から何が大切か、それはテストの点数が良くても内申点がなかったら行きたい高校にも行けなくなる。逆に内申点があっても自分みたいに努力をおこたると自分のような結果になり、後悔が残ってしまう。だから自分はこう思う。

「才能はなくても努力はできる！」

だから、みんなはがんばってください。ちゃんと宿題しろよー！！

～神戸高校に合格したM・Sくんはこんな子でした～

なかなか受験に対して向き合うことができずに、自分の志望校を下げるなど、辛いことも多く経験してしまった彼ですが、今回の高校受験を通じて努力や継続することの大切さを学んでくれたことでしょう。それでも神戸高校に入学したからには次は大学受験です。「才能はなくても努力はできる。」こう思えただけでも意味のある高校受験だったと思います。同じ失敗だけはしないように、充実した高校生活をおくってくれることを期待していますよ。

神戸高校 普通科 (T・Kくん 白子中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

高校入試が終わったときは、すごくすがすがしい気持ちになりました。今までの努力が実りうれしかったです。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

1週間前が一番辛かったです。受験勉強を通して勉強の大切さを学びました。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

感謝しかありません。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

国公立の大学に進学するために、日々勉強にはげみたいです。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

がんばれ！

～神戸高校に合格したT・Kくんはこんな子でした～

高校受験は決して楽なものではなく苦しいものです。しかし、誰も避けて通ることはできません。「素質はあるのだから、もっと真剣にやっていたら・・・」「もう少しだけ勉強に向き合ってくれば・・・」と「・・・たら」や「・・・れば」と感じてしまう子でした。ただ、受験直前に見せていた最後の追いこみは自分なりにがんばってくれました。次の大学受験は高校受験のように甘くはありません。厳しい状況からも安易に逃げない強さをもてるように大きく成長してください。あとは、もう少しボリュームのある作文を書いてほしかったなあと思いました。短すぎない？(笑)

四日市西高校 比較文化歴史コース (C・Hさん 千代崎中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

入試が終わったときは、達成感と不安な気持ちでいっぱいでした。自己採点をするさらに不安な気持ちが大きくなり、入試は終わったはずなのに緊張で眠れませんでした。合格発表で自分の番号が見えたときは、喜びというより安心感の方が大きく、今までオネストでがんばってきてよかったと思いました。合格発表は最高の瞬間でした。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

一番辛かった時期は、前期試験の内定者の発表後です。自分のクラスでは半分以上高校が決まった人がいてみんなは遊んでいたの、遊べないことが辛かったです。あと、冬期講習は宿題や小テストの量が多くて、何から手をつければいいのかかわからず、とても大変でした。勉強しても全然理解できなくて点を落としたときや過去問で点がとれなかったときも辛かったです。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

私は家族にすごく感謝しています。塾の送迎のために仕事の時間をずらしてくれたり、塾の時間に合わせてご飯をつくってくれたりしてすごく助かりました。入試直前にはお守りをつくってくれたり、緊張をほぐしてくれたりしてとても心の支えになりました。リラックスして試験を受けられたのは家族のおかげなので、感謝の気持ちでいっぱいです。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

私は勉強も部活動もがんばりたいと思っています。中3になり、「1、2年生でサボらなければよかった」と何回も思ったので、高校では同じミスをしないように1年生からがんばります。中学では部活動でもいまいちで良い結果を残せたことがほとんどないので、高校では今まで以上に努力したいと思っています。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

自分は3年生の夏までテスト期間しか勉強してなかったので、そのときだけ頭につめこんで、すぐに忘れてしまっていました。だから、受験勉強で1からやり直さないといけなくてとても大変でした。コツコツ勉強した方が後々は楽になるので良いと思います。受験勉強はとても辛くてしんどいけど、合格したときは最高に気持ちが良いです。志望校に合格できるようにがんばってください！

～四日市西高校に合格したC・Hさんはこんな子でした～

中3の冬期講習は受験前の追い込みとあって、今まで以上に宿題もあり、各科目の小テストなどで受験生にとっての負担は決して少なくありません。しかし、彼女は午後の冬期講習が終わってからも夜間は毎日オネストで自習するなど、合格に向けての努力を惜しみませんでした。何から手をつければよいかわからなかったとありましたが、彼女は自分のすべきことを確実にこなしていました。そのひたむきな努力が合格に結びついたと言えます。

四日市西高校 普通科 (Y・Mさん 千代崎中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

終わったときはやり切ったという気持ちが強かったです。何か月間も勉強をがんばってきただけに、この学校に絶対受かりたいという気持ちも強くありました。合格発表までの時間はとにかく不安でしたが、自分の番号を見つけたときは素直にうれしかったです。同時に、がんばってきてよかったという思いでいっぱいでした。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

辛かったことは、今まで遊んだり自由な時間があったりしたのが普通だったのに、そういうことが制限され勉強をしなければならなくなったことです。受験勉強を通して継続して取り組むことの大切さを学びました。また、自分に合った勉強方法を見つけて、集中力を高めることの大切さを学ぶことができたと思います。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

進路を決めるうえで親とはコミュニケーションをとることを心がけました。親の意見を聞き入れつつ、最終的に進路先を決定し、たくさん協力してもらったのでごく感謝しています。また、自分の周りには志望校の同じ友だちが多かったので、同じ目標に向かって高め合って、安心してテストを受けることができました。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

勉強と部活の両立をがんばりたいです。勉強は日々コツコツと行い、ついていけるようにし、部活ではマネージャーをしたいと考えているのでしっかりと仕事をこなしたいと思います。高校生活の短い3年間の中でもっと成長し、後悔をしないようにしていきたいと思います。そして、人との交流もしていきたいです。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

受験生になるまでに短時間でもいいので勉強する習慣をつけておくべきだと思います。志望校を焦って決める必要はないですが、どの高校に決まってもいいようにしておいた方がいいと思います。受験生の間は我慢や勉強をたくさんしなければならないので大変ですが、合格するためにはがんばってください。

～四日市西高校に合格したY・Mさんはこんな子でした～

冬期講習よりオネスト生の一員となってくれた彼女とは約3か月という短い間でしたが、ともに勉強できたことを嬉しく思います。特に素晴らしいと思ったのは授業中の様子です。文系科目では黒板に書いたことだけでなく、自分が大切だと思ったことや気づいたことをメモとり、自分の力を少しでも上げるんだという強い気持ちが伝わってきました。受験直前はどうしても課題が多くなりますが、それでも彼女は最後まで手を抜きませんでした。本当によくがんばってくれました。

白子高校 普通科 (K・Mさん 白子中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

すごく解放された気分で、あとは結果を待つだけでしたが、やり切った感がすごくありました。試験中はすごく緊張したけど、やり切った感があったので、緊張も忘れるくらいでした。合格したときは、本当に自分の番号かどうか何度も確かめました。すごくうれしくて忘れることはないです。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

全然遊びにも行けず、家でも学校でも受験モードですごく辛かったです。勉強にも集中することはあんまりできず、すごく怒られたのが辛かったです。でも、そこからあきらめずに勉強すれば志望校に合格することができるということを学びました。だから、これからもがんばることが大切です。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

両親は、私が勉強をしっかりとやっていたらほめてくれ、合格したときも心から喜んでくれました。そんな両親には感謝しかないので、これからは恩返しをしていきます。友人は、ともに支え合い、ともに戦ってきたので、これからもそういう友人を大切にしたいと思っています。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

私は将来看護師をめざしているので、高校では基礎から応用まで難なくこなせるようにがんばりたいと思っています。そして、大学に行き、看護師になります。あと、もう1つは部活に入ろうと思っています。だから、高校では勉強でも部活でも成績を上げたいです。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

受験は1人で戦っていると思いがちですが、塾の先生や学校の先生、両親、友人がいるので1人で戦っているのではないということを覚えておいてください。そして、体調管理も大切なので、ちゃんと気をつけてください。そうすれば、きっと合格することができます。

～白子高校に合格したK・Mさんはこんな子でした～

彼女について最も印象に残っているのは、わからないところや疑問点などをしっかりと質問して解決しようとする姿勢です。特に数学では、授業前に宿題でわからなかったところや疑問点を中根に質問して、少しでも苦手を克服しようとしていました。わからないことを聞くことは何も恥ずかしいことではありません。まさに、日々の小さな積み重ねが自分の目標の実現に向かうことを示してくれた生徒でした。

鈴鹿高専 生物応用化学科 (K・Mさん 鼓ヶ浦中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

志望校の合格を知った瞬間は心の底から喜びがこみ上げてきて、とてもうれしかったです。しかし、それと同時に私はギリギリの成績で合格したので、まだ勉強を続けなければいけないなと思いました。また、終わってみると解放感がなかったので、そこまで「苦」で受験勉強をしていたわけではないとわかりました。そのため高校ではもっと勉強が難しくなるので、少し勉強する時間を減らしてゆっくりしつつも、このまま勉強を続けていこうと心に決めることができたのでよかったです。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

受験勉強で辛かった時期は、推薦入試で鈴鹿高専を受けて不合格だったときです。それを知ったときは、あまり「勉強しよう」という気持ちになれずけっこう引きずってしまいました。しかし、学校で一緒に受けて落ちた子を見たときに「まだ一般試験があるから」と前向きに言っていて、「受験勉強でも何事でも前向きにとらえて次に進む」というあたりまえのことかもしれないけれど、大切だとすごく感じることができました。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

いそがしいにも関わらず、塾の送り迎えをしてくれた家族にはすごく感謝しています。私の勉強のやる気が出ないときに励ましてくれたり、毎日塾に行くようにして勉強時間を作ってくれました。だから、毎日決まった時間でコツコツと積み重ねて勉強することができて、志望校に合格することができたと思います。また、共に勉強した友人がいることで「自分もがんばらなければいけない」と思うようになったので、良きライバルとしての友人がいてくれてよかったと思い、すごく感謝しています。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

私が高校生になってがんばりたいことは、英語の話す力をきたえることと化学実験などの技術や知識を身につけることです。中学校での英語は主に書く力をきたえて、すらすらと英語を話せるというところまではすることができないので、これから国際化が進むうえで英語は大切だと思ったからです。また、私は将来、研究職に就きたいと考えているので、週に1回はある実験で技術や知識を身につけて将来に向けてつなげていきたいと思いました。この2つ以外にも挑戦できることは挑戦していきたいと思います。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

受験は自分を見つめ直すチャンスだと思うので、少しずつでもいいので自分の生活習慣を正しくしたり、将来の夢について考えたりして自分に合う高校を見つけていくといいと思います。また、塾の志望校判定でC判定やD判定が出ていたとしてもあきらめる必要はないと思います。そこで簡単にあきらめてしまっても後悔だけが残るだけだと思うので、A判定が出るように自分の限界まで努力をして勉強すれば必ず良い結果になると思います。また、自分自身の成長になるので、全力で勉強にとりくべきだと思います。

～鈴鹿高専に合格したK・Mさんはこんな子でした～

鈴鹿高専を目指していた彼女は小学生の頃から通ってくれていました。素晴らしかったのは宿題を忘れることなく、勉強に取り組んでくれたところです。また、中学校の定期テストや鈴鹿高専の入試に向けては入念な準備を怠ることなく、常に自分の最善を尽くして試験にのぞんでいました。鈴鹿高専合格という高いハードルに向けて、ゆっくりですが着実に自分の力を伸ばしてくれた生徒です。

鈴鹿高専 電気電子工学科 (K・Sくん 千代崎中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

入試の問題が難しくてまったくできませんでした「これは落ちたな」と思っていました。合格が決まったときは「マジで？」という感じでした。本当に合格しているかが信じられなくて、合格通知が届くまで何度も自分の受験番号があるかを確認していました。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

ずっと勉強が嫌いで、楽なほうに逃げてばかりだったので、将来に大きく関わることだと気づき、いざ向かい合ってやろうと思っていた時にたまっているものを消化しなければいけなかったとき。受験を通して物事は多少辛くても早くかたづけなければいけないことを学びました。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

学校のテストや内申点があまり良なくて、記念受験になるので受けるのがいやだと言ったときに、受けてみようと言ってくれたことに感謝しています。推薦で先に受かっていた友だちが応援してくれたことが勉強のエネルギーになったと思います。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

留年をしないように勉強をがんばりつつ、今は決まっていない将来の目標を見つけて楽しく過ごすことです。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

僕は平均より上を常に目指し続けて勉強していました。ですが、そこで満足するのではなく、さらにその上を目指すことをおすすめします。最後に僕は、私立高校の入試のときにガチガチに緊張してあまり結果がふるいませんでした。なので、本番はすごくリラックスして受けるようにしました。リラックスすることはかなり大事だと思うので、結果を出したい人は試してください。

～鈴鹿高専に合格したK・Sくんはこんな子でした～

宿題をためてしまい、やらなければならないと気がついたときには、その量に驚いてやらなかったことを後悔することは誰にでもあるはず。彼もそんなことを何度も経験した1人でした。しかし鈴鹿高専は難関校の1つです。同時に、入学後も難しい勉強が待ち受けています。高校受験を通じて物事を早く片づけること理解してくれたようです。将来の目標を見つけて、鈴鹿高専での5年間を充実したものにしてください。

三重高校 進学コース (K・Mさん 鼓ヶ浦中学卒業)

①「高校入試が終わったときの感想」または「志望校合格の瞬間のときの思い」

入試が終わって緊張していたのが解放された感じが強かったです。もう受験勉強をしなくていいんだなと。特に私は私立高校希望なので3学期始まったぐらいに受験勉強を始めて、1日1日が早くなっていき不安があったけど、終わったとたんに一気になりました。入試が終わって1週間後ぐらいに発表でした。他の人より、私は推薦でやったから受かりやすいとは思っていたけど、実際本当に志望校に受かったことはすごくうれしかったです。それに、志望校に通えるようになってうれしい面もあったのと同時に、勉強や友だちなどできるかなという不安もありました。

②「受験勉強で辛かった時期や辛かったこと」または「受験勉強を通して学んだこと」

私は私立だけを受けました。前期試験の人よりも早く受験をするということだったので、冬休みから勉強していかないと間に合わなくて、だけど、それと同時に中学校での学年末テストの勉強をしなければいけなかったのが辛かったです。その後、学年末テストが終わったと思ったら3週間後に入試という時間がない中で、受かるかなという不安や心配があったのが辛かったです。過去問をやっているとき、問題文をしっかりと読んでいなかったせいで間違えることもあったので、問題文をしっかりと読み、その問題について考えることが大事だということを学びました。

③「今まで支えてくれた保護者の方」または「ともに高校受験を乗り越えた友人」への思い

今、過去を振り返ると、特にお母さんにはたくさん迷惑をかけたなと思います。小学校からバレーボールをしていて、土、日曜日は練習試合で送り迎えをしてもらって大会のときには応援もしてくれたりしたのがうれしかったです。だけど、迷惑もかけたなと思います。それに、受験生になってから先生方が「受験は1人でやるものではなくてみんなで行うもの」と言ってくれました。初めはわからなくて過ごしていたけど、近くなるにつれてその意味がよくわかりました。だから、友だちともがんばってできました。先生や友だち、親に感謝をしなければいけないなと思いました。

④「高校生になってがんばりたいこと」または「将来の目標や夢」など

私は、高校には主にバレーボールが強いところでやりたいなという思いがあって、推薦で高校に入りました。だから、このバレーボールがしたいという思いをもって部活をがんばりたいなと思います。それに、三重高校は勉強にも力を入れているので、私自身勉強が苦手だけど、ついていけるように勉強も部活もがんばろうと思います。私には将来の夢がまだありません。ただ高校はバレーボールが強いところに行きたいとだけ思っていただけです。だけど、この3年間で自分がやりたいことを見つけ、それを卒業のときに叶えることが今の目標だと思っています。

⑤これから受験を迎える後輩たちへのメッセージやアドバイス

3年生になって受験まで時間があると思っていたら、すぐに夏休み、冬休みとなり1月に入って入試がせまってきます。私も実際そうで、あっという間に入試が来ました。入試の前にしっかりと勉強することが大事だと思います。前期や私立の人たちも大変だけど、後期だけを受ける人は特に休み時間や塾で勉強することが本当に大事なんだなと友だちを見て思いました。それに、私はやりたいこと、将来の夢がないまま高校に進学してしまうけど、やっぱりやりたいことや自分が好きなことを見つけて、それを高校や将来につなげることができると思うので、好きなことを見つけた方がいいなと思います。がんばってください。

～三重高校に合格したK・Mさんはこんな子でした～

彼女は私立高校の三重高校が第1志望でした。ご存知のように私立高校は県立高校よりも入試が早く行われます。したがって、受験に対する準備は早い時期から行う必要があります。中学校3年生の1月は私立高校の準備に学校の学年末テストなど慌ただしい時期ですが、彼女は自分なりに何とかやりくりをしてくれました。バレーボールの強豪校の三重高校でレギュラーを目指すと同時に勉強も自分のペースでがんばってくださいね。